第3215号 本文

官報

昭和十二年九月十八日

第三千二百十五號 土曜日

勅令

朕昭和八年勅令第百十七號臨時文部省ニ教育調査部ヲ設置スルノ件中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十二年九月十七日
内閣總理大臣 公爵 近衞 文麿
文部大臣 安井 英二

勅令第五百二號

昭和八年勅令第百十七號中左ノ通改正ス

第二條中「文部事務官 専任二人」ヲ「文部事務官 専任四人」ニ、「屬 専任四人」ヲ「屬 専任八人」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕地方土木職員制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十二年九月十七日
内閣總理大臣 公爵 近衞 文麿
内務大臣 馬場 鍈一

勅令第五百三號

地方土木職員制中左ノ通改正ス

第一條第一項中「土木主事 専任三十九人以内」ヲ「土木主事 専任四十二人以内」ニ、「土木技師 専任二百二人以内」ヲ「土木技師 専任二百八人以内」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

大正九年八月十一日公布 勅令第二百四十六號 地方土木職員制抄錄

第一條第一項

地方土木ニ關スル事務又ハ技術ニ從事セシムル爲北海道地方費又ハ府縣費ヲ以テ各道廳又ハ府縣ニ通シテ左ノ職員ヲ置クコトヲ得

事務職員

（左記略ス）

技術職員

（左記略ス）

朕恩給法施行令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十二年九月十七日
内閣總理大臣 公爵 近衞 文麿

勅令第五百四號

恩給法施行令中左ノ通改正ス

第十一條第六號中「及鐵道藥劑師」ヲ「、鐵道藥劑師、專賣醫及專賣藥劑師」ニ改ム

第二十四條ノ五中「第十四條第一項及第二項」ヲ「第十四條第一項、第二項及臨時租稅增徵法第七條」ニ改ム

第二十四條ノ八第一項中「關東州若ハ「夫々關東局又ハ」ヲ削ル

別表第二號表(二)二分ノ一月ヲ加算スヘキモノ中其ノ他ノ欄「黑河」ノ次ニ「克山」ヲ、「雙河鎭」ノ次ニ「綏化」ヲ加フ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

大正十二年八月十七日公布 勅令第三百六十七號恩給法施行令抄錄

第十一條 恩給法第二十四條第四號ノ待遇職員トハ左ニ掲クル者ヲ謂フ

六 朝鮮ニ於ケル監獄ノ藥劑師、鐵道醫及鐵道藥劑師並臺灣ニ於ケル警察醫

第二十四條ノ五 恩給外ノ所得ノ計算ニ關シテハ所得稅法第十四條第一項及第二項並所得稅法施行規則第七條及第八條ノ規定ヲ準用ス

第二十四條ノ八第一項

年額千圓以上ノ恩給ヲ受クル者ニシテ關東州若ハ南洋群島ニ住所若ハ一年以上ノ居所ヲ有シ又ハ同地域ニ住所若ハ一年以上ノ居所ヲ有セサルモ同地域內ニ有スル資産若ハ營業ヨリ生スル所得ヲ得ルモノハ毎年三月十五日迄ニ所得ノ種類及金額ヲ詳記シ裁定官廳カ內閣恩給局長ナルトキハ夫々關東局又ハ南洋廳ヲ經由シテ裁定官廳ニ共ノ申告ヲ爲スヘシ裁定官廳カ地方長官ナル場合ニ於テ恩給受給者カ裁定官廳ノ管轄內ニ住所又ハ居所ヲ有スルトキハ直接ニ裁定官廳ニ然ラサルトキハ住所若ハ居所又ハ資産若ハ營業ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ裁定官廳ニ共ノ申告ヲ爲スヘシ

朕昭和十二年法律第八十八號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十二年九月十七日
内閣總理大臣 公爵 近衞 文麿
拓務大臣 大谷 尊由

勅令第五百五號

昭和十二年法律第八十八號ハ之ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

昭和十二年九月十日公布法律第八十八號ハ軍需工業動員法ノ適用ニ關スル件ナリ

目次抄錄

頁
●勅令 臨時文部省ニ教育調査部ヲ設置スルノ件中改正 四九七
地方土木職員制中改正 四九七
恩給法施行令中改正 四九七
昭和十二年法律第八十八號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件 四九七
●制令 朝鮮旅金令 四九八
●省令 大正二年勅令第二十五號施行ニ關スル規則中改正 四九九
機船底曳網漁業取締規則中改正 四九九
汽船「トロール」漁業取締規則中改正 四九九
漁船保險組合補助規則 五〇〇
●告示 砂防指定 五〇一
保安林解除
航空保險事業ヲ營ムノ件 五〇四
免許
無線局及託送電報受所名等中削除其他 五〇四
●彙報 八月分ノ全國及都市別生計費指數 五〇八
水路告示第三十六號 五〇九
名古屋高等工業學校規則中改正 五一三
七月ノ生絲製造高 五一三
●廣告 高等試驗行政科口述試驗公告 五一六
普通試驗合格者（北海道廳） 五一七

明治二十五年三月三十一日 第三種郵便物認可

本文

制令

朝鮮産金令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ公布ス

昭和十二年九月七日　朝鮮總督　南　次郎

制令第十六號

朝鮮産金令

第一條　含金鑛物、砂金又ハ製錬ノ過程ニ在ル含金物(以下含金鑛産物ト總稱ス)ヲ取得シタル者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ金地金ニ製錬シテ朝鮮銀行ニ賣却シ又ハ之ヲ朝鮮總督ノ指定スル金製錬業者ニ若ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金鑛産物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニ賣却スベシ

前項ノ規定ニ依ル金地金ノ賣却ノ申込アリタル場合ニ於テハ朝鮮銀行ハ其ノ買入ヲ拒ムコトヲ得ズ

第一項ノ含金鑛産物ノ範圍ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第二條　朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ含金鑛産物ヲ取得シタル者ニ對シ之ヲ金製錬業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金鑛産物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニシテ朝鮮總督ノ指定スル者ニ賣却スベキコトヲ命ズルコトヲ得

朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ金製錬業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金鑛産物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニ對シ朝鮮總督ノ指定スル者ヨリ含金鑛産物ヲ買入ルベキコトヲ命ズルコトヲ得

第三條　金製錬業ヲ營マントスル者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督ノ免許ヲ受クベシ業トシテ含金鑛産物ノ買入ヲ爲サントスル者亦同ジ

前項ノ免許ヲ受ケ金製錬業ヲ營ム者ハ之ヲ金製錬業者ト稱ス

金製錬業者又ハ第一項ノ規定ニ依リ含金鑛産物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニ非ザレバ含金鑛産物ヲ譲受クルコトヲ得ズ但シ朝鮮總督別段ノ定ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條　金製錬業者其ノ事業ヲ廢止シ又ハ休止セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

金製錬業ノ譲渡又ハ金製錬業ヲ營ム會社ノ合併若ハ解散ノ決議若ハ總社員ノ同意ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

相續人ガ被相續人ノ金製錬業ヲ承繼シタルトキハ相續人ハ金製錬業ノ免許ヲ受ケタル者ト看做ス此ノ場合ニ於テハ相續人ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第五條　金製錬業者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ヲ定メ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第六條　朝鮮總督産金ノ増加ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ金製錬業者ニ對シ製錬設備ノ擴張、改良、共用其ノ他製錬設備ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ設備ノ共用ノ命令アリタル場合ニ於テ其ノ實施方法又ハ收得シ若ハ負擔スベキ金額ニ付當事者間ニ協議調ハザルトキハ申請ニ依リ朝鮮總督之ヲ裁定ス

第七條　金鑛又ハ砂金ヲ目的トスル鑛業權者(以下金鑛業者ト稱ス)ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ヲ定メ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第八條　朝鮮總督産金ノ増加ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ金鑛業者ニ對シ探鑛、採掘若ハ選鑛ニ付設備ノ新設、擴張、改良、共用其ノ他必要ナル事項ヲ命ジ又ハ製錬設備ノ新設若ハ共用ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル命令ニ依リ製錬設備ノ新設ヲ爲シ又ハ之ヲ共用スル者ハ金製錬業者ト看做ス

第六條第二項ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依リ設備ノ共用ノ命令アリタル場合ニ付之ヲ準用ス

第九條　朝鮮總督ハ前條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ履行セザル金鑛業者ニ對シ其ノ鑛業權ヲ朝鮮總督ノ指定スル者ニ譲渡スベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ於テ價額其ノ他譲渡ノ條件ニ付協議調ハザルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ申請ニ依リ朝鮮總督之ヲ裁定ス

前項ノ規定ニ依ル裁定アリタルトキハ譲受人ハ裁定ニ依ル買收金ヲ拂渡期日迄ニ譲渡人ニ拂渡スベシ但シ拂渡スコト能ハザル事由アルトキハ之ヲ供託スベシ

譲受人前項ノ拂渡又ハ供託ヲ爲サザルトキハ第一項ノ命令及第二項ノ裁定ハ其ノ效力ヲ失フ

第十條　朝鮮總督公益上必要アリト認ムルトキハ金鑛業者、金製錬業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金鑛産物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニ對シ含金鑛産物ノ取引ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第十一條　朝鮮總督ハ金鑛業者、金製錬業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金鑛産物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ檢査ヲ爲スコトヲ得

朝鮮總督ハ金鑛業者、金製錬業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金鑛産物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十二條　朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ金ノ價格又ハ金ノ使用ノ制限其ノ他金ノ使用ニ關シ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第十三條　朝鮮總督ハ其ノ定ムル所ニ依リ金貨幣、金地金、金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ノ取得、處分又ハ保有ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ檢査ヲ爲スコトヲ得

第十四條　朝鮮鑛業令第三十二條乃至第四十條ノ規定ハ金鑛業者ニ非ザル金製錬業者ニ關シ之ヲ準用ス

第十五條　朝鮮總督ハ其ノ定ムル所ニ依リ金鑛業者及金製錬業者ニ對シ奬勵金ヲ交付スルコトヲ得

第十六條　詐欺ノ行爲ヲ以テ前條ノ奬勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シテハ其ノ金額ノ返還ヲ命ズ

前項ノ規定ニ依ル返還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徴收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次グモノトス

第十七條　金製錬業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金鑛産物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ朝鮮總督ノ命ジタル事項ヲ執行セザルトキハ朝鮮總督ハ其ノ業務ヲ停止シ若ハ制限シ、第三條第一項ノ免許ヲ取消シ又ハ法人ノ役員ノ解任ヲ爲スコトヲ得

第十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ當該金地金又ハ含金鑛産物ノ價額ノ三倍ガ五千圓ヲ超

ユルトキハ罰金ハ其ノ價額ノ三倍以下トス

一　第一條第一項ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シテ金地金ヲ朝鮮銀行ニ賣却セザル者

二　第一條第一項ノ規定ニ違反シテ金地金ヲ朝鮮銀行以外ノ者ニ譲渡シタル者

三　第一條第一項ノ規定ニ違反シテ朝鮮總督ノ指定シタル金製錬業者及第三條第一項ノ規定ニ依リ含金鑛産物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者以外ノ者ニ含金鑛産物ヲ譲渡シタル者

四　第三條第一項ノ規定ニ違反シテ含金鑛産物ヲ買入レ又ハ同條第三項ノ規定ニ違反シテ之ヲ譲受ケタル者

第十九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第二條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シテ含金鑛産物ヲ朝鮮總督ノ指定シタル者以外ノ者ニ譲渡シタル者

二　第三條第一項ノ規定ニ違反シテ金ノ製錬ヲ爲シタル者

三　第十條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

四　第十二條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者

第二十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第四條第一項ノ規定ニ違反シテ事業ヲ廢止シ又ハ休止シタル者

二　第五條第一項又ハ第七條第一項ノ規定ニ違反シテ事業計畫ノ屆出ヲ爲サズ又ハ屆出デタル事業計畫ヲ實施セザル者

三　第五條第二項又ハ第七條第二項ノ規定ニ依ル變更命令ニ違反シテ事業計畫ヲ實施シタル者

四　第六條第一項又ハ第八條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

第二十一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第四條第三項ノ規定ニ違反シテ屆出ヲ爲サザル者

二　第十一條第一項又ハ第十三條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ、虛僞ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者

三　第十一條第二項ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者

第二十二條　金鑛業者ニ非ザル金製錬業者ニシテ第十四條ニ於テ準用スル朝鮮鑛業令第三十五條第三項ノ規定ニ違反シタルモノハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十三條　法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シテ第十八條乃至第二十一條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦第十八條乃至第二十一條ノ罰金刑ヲ科ス

第二十四條　朝鮮鑛業令第四十七條及第四十八條ノ規定ハ金鑛業者ニ非ザル金製錬業者ニ關シ之ヲ準用ス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

本令施行ノ際現ニ含金鑛産物ヲ所有スル者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ本令施行ノ日ニ之ヲ取得シタル者ト看做ス

本令施行ノ際現ニ金製錬業ヲ營ム者若ハ業トシテ含金鑛産物ノ買入ヲ爲ス者又ハ其ノ事業ヲ承繼シタル者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ本令施行ノ日ヨリ三月ヲ限リ第三條第一項ノ規定ニ拘ラズ其ノ事業ヲ營ムコトヲ得

前項ニ掲グル者前項ノ期間内ニ第三條第一項ノ規定ニ依リ免許ヲ申請シタル場合ニ於テ其ノ申請ニ對スル許否ノ處分ノ日迄亦前項ニ同ジ

省令

◎內務省令第三十八號

大正二年三月內務省令第五號大正二年勅令第二十五號施行ニ關スル規則中左ノ通改正ス

昭和十二年九月十八日　內務大臣　馬場　鍈一

第二條中所轄樺太廳支廳ノ下ニ「(樺太ノ市ニ本籍ヲ有スル者ニ付テハ樺太廳)」ヲ加フ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

大正二年三月三十一日內務省令第五號　大正二年勅令第二十五號施行ニ關スル規則抄錄

第二條　市町村又ハ之ニ準スヘキモノニ於テ仕拂タル額ハ便宜ノ時期ニ於テ左記書式ニ準據シ其ノ拂戻ヲ所屬地方廳ニ請求スヘシ但シ樺太ニ本籍ヲ有スル者ニ仕拂タル額ハ所轄樺太廳支廳ニ請求スヘシ

◎農林省令第四十一號

機船底曳網漁業取締規則中左ノ通改正ス

昭和十二年九月十八日　農林大臣　伯爵　有馬　賴寧

第二十四條第一項中「三十日」ヲ「六十日」ニ改ム

第二十五條ノ二　農林大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ機船底曳網漁業ノ許可ヲ受ケズシテ機船底曳網漁業ノ操業ニ使用セラレタル事實アリト認ムル漁船ノ碇泊ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ碇泊命令ハ碇泊港及碇泊期間ヲ指定シテ前項ノ漁船ニ依リ漁業ヲ營ム者又ハ當該漁船ノ船長若ハ船長ノ職務ヲ執ル者ニ對シ之ヲ爲ス但シ碇泊期間ハ地方長官ノ爲ス碇泊命令ニ在リテハ六十日ヲ超ユルコトヲ得ズ

第二十四條第二項ノ規定ハ地方長官第一項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十五條ノ三　農林大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ機船底曳網漁業ノ許可ヲ受ケズシテ機船底曳網漁業ノ操業ニ使用セラルルモノト認ムル漁船ニ依リ漁業ヲ營ム者又ハ當該漁船ノ船長若ハ船長ノ職務ヲ執ル者ニ對シ期限ヲ指定シ專ラ機船底曳網漁業ノ操業ノ用ニ供スルモノト認ムル漁具捲揚裝置其ノ他ノ設備ノ撤去其ノ他必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得

第三十一條ノ二　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第二十五條ノ二第一項ノ規定ニ依ル碇泊命令ニ從ハザル者

二　第二十五條ノ三ノ規定ニ依ル命令ニ從ハザル者

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

昭和九年七月二十五日農林省令第二十號　機船底曳網漁業取締規則抄錄

第二十四條第一項

地方長官其ノ管轄區域内ニ在ル機船底曳網漁船ニ付機船底曳網漁業者本則又ハ本則ニ基ク處分ニ違反シタル事實アリト認ムルトキハ機船底曳網漁業者ニ對シ碇泊港及碇泊期間ヲ指定シテ機船底曳網漁船ノ碇泊ヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ碇泊期間ハ三十日ヲ超ユルコトヲ得ズ

◎農林省令第四十二號

汽船「トロール」漁業取締規則中左ノ通改正ス

昭和十二年九月十八日　農林大臣　伯爵　有馬　賴寧

「農商務大臣」ヲ「農林大臣」ニ改ム

第三十一條ノ二　農林大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ汽船「トロール」漁業ノ許可ヲ受ケズシテ汽船「トロール」漁業ノ操業ニ使用セラレタル事實アリト認ムル漁船ノ碇泊ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ碇泊命令ハ碇泊港及碇泊期間ヲ指定シテ前項ノ漁船ニ依リ漁業ヲ營ム者又

第3215号 本文

ハ當該漁船ノ船長若ハ船長ノ職務ヲ執ル者ニ對シ之ヲ爲ス但シ碇泊期間ハ地方長官ノ爲ス碇泊命令ニ在リテハ六十日ヲ超ユルコトヲ得ズ

地方長官第一項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ事由ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ農林大臣ニ報告スベシ

第三十一條ノ三　農林大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ汽船「トロール」漁業ノ許可ヲ受ケズシテ汽船「トロール」漁業ノ操業ニ使用セラルルモノト認ムル漁船ニ依リ漁業ヲ營ム者又ハ當該漁船ノ船長若ハ船長ノ職務ヲ執ル者ニ對シ期限ヲ指定シ專ラ汽船「トロール」漁業ノ操業ノ用ニ供スルモノト認ムル漁具捲揚裝置其ノ他ノ設備ノ撤去其ノ他必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得

第三十四條ノ二　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第三十一條ノ二第一項ノ規定ニ依ル碇泊命令ニ從ハザル者

二　第三十一條ノ三ノ規定ニ依ル命令ニ從ハザル者

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◎農林省令第四十三號

漁船保險組合補助規則左ノ通定ム

昭和十二年九月十八日

農林大臣　伯爵　有馬　賴寧

漁船保險組合補助規則

第一條　農林大臣ハ漁船保險組合ノ普及發達ヲ圖ル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍內ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條　補助金ハ左ニ揭グル費用ニ對シ漁船保險組合ニ之ヲ交付ス

一　漁船保險組合ノ設立費

二　漁船保險組合ノ專任職員設置費及事務費

第三條　補助金ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス

一　前條第一號ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ二百圓以內

二　前條第二號ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ五分ノ一以內

特別ノ事由アル場合ニ於テハ前條第二號ノ費用ニ對スル補助金ハ前項第二號ノ割合ヲ超エテ之ヲ交付スルコトアルベシ

第四條　補助金ノ交付ヲ受ケントスル漁船保險組合ハ申請書ニ左ニ揭グル書類ヲ添附シ第二條第一號ノ費用ニ對スル申請ノ場合ニ在リテハ組合設立ノ認可アリタル後遲滯ナク、同條第二號ノ費用ニ對スル申請ノ場合ニ在リテハ前年度二月末日迄ニ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

一　第二條第一號ノ費用ニ對スル申請ノ場合ニ在リテハ創立總會ノ承認ヲ經タル設立費及其ノ償却方法ヲ記載シタル樣式第一號ニ依ル書類

二　第二條第二號ノ費用ニ對スル申請ノ場合ニ在リテハ樣式第二號ニ依ル事業計畫書及樣式第三號ニ依ル概算書

前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第五條　前條第一項第二號ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第六條　第二條第二號ノ費用ニ對スル補助金ノ交付ヲ受ケタル漁船保險組合ハ翌年度六月三十日迄ニ樣式第三號ニ依ル精算書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第七條　本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ漁船保險組合ノ主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スベシ

第八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ補助金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

一　本則ノ規定ニ違反シタルトキ

二　補助金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

三　事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

四　支出額ガ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中二月末日迄トアルハ昭和十二年度ニ限リ十二月三十一日迄トス

樣式

第一號

設立費及其ノ償却方法書

科目	精算書（圓）	備考
給料手當		
旅費		
會議費		
通信運搬費		
消耗品費		
何々		
雜費		
計		

償却方法

第二號

事業計畫書

種類	噸數別	區域內ニ於ケル現在隻數	現在加入隻數	本年度加入豫定隻數	本年度引受豫定保險金額	本年度收入豫定保險料	同上中附加保險料	備考
動力漁船	五噸未滿							
	五噸以上二〇噸未滿							
	二〇噸以上五〇噸未滿							
	五〇噸以上一〇〇噸未滿							
	一〇〇噸以上							
	計							
動力漁船ニ非ザル漁船	五噸未滿							
	五噸以上二〇噸未滿							
	二〇噸以上							
	計							
總計								

第3215号　本文

第三號

概算書（精算書）

收入

科目	概算額（精算額）圓	前年度概算額（概算額）圓	增減	備考
國庫補助金				
組合負擔額				
何々				
計				

支出

科目	概算額（精算額）圓	前年度概算額（概算額）圓	增減	備考
俸給				
旅費				
會議費				
備品費				
通信運搬費				
消耗品費				
何々				
雜費				
計				

告示

◎內務省告示第五百五十八號（昨十七日ノ續）

岡山縣

郡名	町村名	大字名	字名	地番
眞庭	落合	西河內	胡摩峪	一八九八、一八七一、一八九五、一八九四、一八九三、一八九〇
同	同	同	中村	一九四七、一九四六、一九四四、一九四三、一九六一
同	同	同	淺尾滝ノ下モ	一九九六、二〇〇一、二〇〇〇、一九九九
同	同	同	笹平	二〇一四、二〇一一、二〇一五、二〇二三、二〇二二
同	同	同	笹平高畑尻	二〇四八ノ一、二〇四八ノ二、二〇四七、二〇四六
同	同	同	笹平高尻	二〇五七、二〇六三、二〇六二
同	同	同	笹平	二〇六五、二〇六七、二〇八四、二〇八五、二〇八八、二〇九四、二〇九五
同	同	同	奥山	二二四〇、二二三九、二二三七ノ一、二二三一、二二四一、二二一九、二二四六ノ一、二二四五ノ三、二二四七ノ二、二二四七ノ一、二二四八
同	同	垂水	換川	一二九六ノ一、一二九五、一二九一、一二九〇、一二八三、一二八二、一二八〇、一二七九、一二八七、一二八六、一二八五、一二九二
同	同	同	善王	一二一九、一二〇一、一一九九、一一九六、一二二八ノ第一、一二二三、一一九八、一二二三
同	同	西河內	下塔	六ノ一、五、四、四一、四三、四三ノ一、四四ノ一、四五ノ二、四六ノ一、四六ノ二、四〇、三一、四五ノ一、六ノ二
同	同	同	小池	三一ノ內ノ一
同	同	同	橋ノ元	八四、二三六、二三七、二三八、二三九、二三一、二四六、二四五、二四三ノ二、二三九、二三八、二四九、二五〇、二五一、二五六、二三〇
同	同	同	河元	四三七、四四〇、四三一、四三〇、四八四、四八六、四八九、四九〇
同	同	同	猪ノ鼻	五〇四、五〇七ノ四、五〇六ノ二、五〇九、五一六、五一五、五一七ノ二
同	同	同	且ノ原	六六〇、六六五
同	同	同	向田	六七〇、六七一、六七五、六七三、六七四
同	同	同	土居畑	六七六、六七七、八〇二、八〇三、八〇四、八〇五、八〇六
同	同	同	國地	一〇一二ノ一、一〇一一ノ二、一〇一〇ノ三、一〇一二ノ二
同	同	同	行廣	一一〇三ノ二、一一〇二ノ一、一一〇五、一一〇六
同	同	同	宇垣	一七一八ノ二、一七一七、一七一六、一七一五、一七一四、一七三三、一七一二
同	同	同	三谷	一七七〇、一七七一、一七七三ノ一、一七七二ノ二、一九〇六、一九〇五、一九〇四、一九〇一、一九〇〇、一八九九、一九二三、一九二二、一九二五ノ二、一九三三、一九三四、一九四一、一九四二、一九三二ノ一、一九二五ノ一、一九三一
同	同	同	清水	一九六七、一九六六、一九六三、一九六九、一九九四、一九六四、一九六三
同	同	同	淺尾小谷	二〇〇二、二〇〇四
同	同	同	淺尾	二〇一〇、二〇〇九
同	同	同	笹平	二〇二四、二〇二五、二〇二六、二〇二九、二〇四四、二〇四三、二〇四二、二〇四一、二〇四〇、二〇三八、二〇一〇、二〇九九、二〇九八、二〇九七、二〇九六
同	同	同	奥山	二一〇八、二一〇九、二一一三ノ三、二一一〇、二一一三ノ五、二一一二ノ一、二一一二ノ四、二一一五ノ二、二一一五ノ一、二一一七、二一一八、二一二六、二一四九、二一一一

以上地番ノ內西河內川ノ中心線ヨリ左右各二十米ノ地域及同番地先ニ存在スル西河內川國有川敷全部

第 3215 号 本文

同	美川	關	市場	七六ノ三、七七ノ四、七七ノ三
同	同	同	日名山	一六五
同	同	同	龜嶋河原	一八五ノ二
同	同	同	山根	一〇三二
同	同	同	酒屋河原	一一六五、一一九二、一一九五
同	同	同	三崎河原	一四八二、一四九一ノ二、一四九二ノ二、一四九三ノ二
同	同	同	下河原上	一八八七ノ二、一八八八ノ二、一八八八ノ四、一八八九ノ二
同	同	同	正中	一九〇四ノ二、一九〇五ノ二
同	同	同	宮前	二〇五七
同	同	同	正谷落	二〇六四ノ二
同	同	同	坂本河原	二一三〇ノ二
同	同	同	鳥居元	二一五七ノ二
同	同	同	小井手	二一六六ノ二
同	同	同	黒ノ中	二一七九ノ二、二一八〇ノ二、二一九三ノ二、二一九二ノ二
同	同	同	袋尻リ	四五三四ノ二
同	同	同	轟キ	四五八六、四五九四ノ二、四五九六ノ四、四六四三、四六四五ノ二、四六四九ノ三、四六四九ノ二、四六五〇ノ二、四六五〇ノ三、四六五一ノ二、四六五一ノ三、四六六三ノ一、四六六三ノ二
同	同	佐引	仁子河内	一〇六九
同	同	同	市場河内	一〇三八ノ二、一〇三七ノ二、一〇三五
同	同	同	大柵	一〇二三
同	同	同	西河内	四八四
同	同	別所	宮木	二八六五ノ一、二八六五ノ二
上房	水田	山田	石ノ坊	六七ノ二
同	同	同	松迫	七三
眞庭	美川	關	大安	二四〇ノ二
同	同	同	クドリ岸	二〇五
同	同	同	花ノ木河原	九七五ノ二、九九一、九九ノ内第一
同	同	同	大讃白	九一四、九一三
同	同	同	下河原	八八九、八八八ノ二、八八八ノ三、八七九ノ二、八七九ノ五、八七八、八七六ノ三
同	同	同	坂本	二一四二ノ二
同	同	同	鳴岩	四六八六、四六六六
同	同	佐引	小林谷尻リ	五ノ二
同	同	同	流田	四二二
同	同	別所	槇原	三ノ四、四ノ四、五ノ六
同	同	同	宮木向	一四七ノ三、一四六ノ一、一四六ノ二、一四七ノ二

以上各筆地先ニ存在スル關川國有川敷全部

同	同	一色	多出	一ノ一
同	同	關	高野堂	一、二ノ一、二ノ四第一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、二一、二二、二三、二四
同	同	同	市場	六三、六四、六五、六六、六七、六八、七六ノ二、七七ノ二、七八ノ一、七八ノ二、七七ノ一
同	同	同	龜嶋	一三一ノ二、一三一ノ一、一三三、一三四、一三五、一三七、一三九ノ一、一三八、一三九ノ二
同	同	同	日名山	一六六、一六四
同	同	同	龜嶋河原	一六八、一六九、一七一、一七二、一七三ノ一、一七三ノ二、一七四ノ一、一七五ノ一、一七六ノ一、一七七、一七八、一七九、一八〇、一八二、一八三、一八五ノ一、一九一、一八八、一八七
同	同	同	山根	一〇〇〇、九九九、一〇〇一、一〇〇二、一〇三〇、一〇三一、一〇三三ノ二、一〇三三ノ一
同	同	同	酒屋河原	一一六三ノ二、一一六三ノ一、一一六四、一一六六、一一六八、一一六九、一一七〇、一一七一、一一九一、一一九三、一一九四ノ一、一一九七ノ一、一一九六、一一九七ノ二
同	同	同	三崎河原	一四六七、一四六八、一四八一、一四七九、一四八三、一四八四、一四八五、一四八六、一四八七、一四九一ノ一、一四九二ノ一、一四九三ノ一
同	同	同	下河原上	一八八七ノ一、一八八八ノ一、一八八八ノ三、一八八九ノ一
同	同	同	正中	一八九〇ノ一、一八九〇ノ二、一九〇四ノ一、一九〇五ノ一、一九〇二、一九〇一、一八九九、一九〇〇
同	同	同	宮前	二〇五六、二〇五八、二〇五九、二〇六一
同	同	同	正谷落	二〇六四ノ一、二〇六五ノ一、二〇六六
同	同	同	坂本河原	二一三四ノ一、二一三四ノ二、二一三四ノ三、二一三三ノ三、二一三三ノ二、二一三三ノ一、二一三一ノ一、二一三一ノ二、二一三〇ノ一
同	同	同	鳥居元	二一五五ノ一、二一五五ノ二、二一五六ノ二、二一五七ノ一
同	同	同	小井手	二一六三ノ一、二一六三ノ二、二一六四ノ二、二一六四ノ一、二一六六ノ一、二一六七ノ一、二一六七ノ二、二一六九ノ二
同	同	同	黒ノ中	二一七八、二一七九ノ一、二一八〇ノ三、二一九三ノ三、二一九二ノ三
同	同	同	大井手	二三三三ノ三、二三三三ノ二、二三二一ノ二、二三一九ノ一、二三一八ノ一、二三一七ノ一、二三一六、二三二五
同	同	同	袋尻リ	四五一二ノ一、四五一二ノ二、四五一七ノ一、四五一八ノ一、四五一九、四五二六、四五二三、四五二一、四五三三ノ二、四五三三ノ一、四五三四ノ一
同	同	同	水光寺谷東平	四五三五、四五六〇、四五五九、四五五六、四五五七、四五五四、四五五三、四五五一ノ一
同	同	同	轟キ	四五七九ノ三、四五七九ノ一、四五七九ノ二、四五八〇ノ一、四五八一、四五八五ノ二、四五八七ノ一、四五八七ノ二、四五九四ノ五、四五九五、四五九六ノ一、四六〇二、四

六〇一ノ一、四六〇三ノ一、四六〇四ノ一、四六四一、四六四四ノ二、四六四四ノ三、四六四五ノ一、四六四五ノ三、四六四九ノ一、四六五〇ノ一、四六六一ノ二、四六一ノ一、四六六二ノ一、四六六二ノ二、四六六二ノ三

同	同	佐引	仁子河内	一〇七二ノ二、一〇七一、一〇七〇、一〇六八、一〇六七、一〇六六、一〇五四、一〇五三、一〇五二、一〇五一
同	同	同	市場河内	一〇三九、一〇三八ノ一、一〇三七ノ一、一〇三八ノ三、一〇三六、一〇三四、一〇三三、一〇三二
同	同	同	大柵	一〇三一、一〇三〇ノ一、一〇二四、一〇二二
同	同	同	松尾平	九三三、九三二、九三〇、九三一ノ一、九三一ノ二、九二七、九二八ノ二、九二八ノ一、九二八ノ三、九一七
同	同	同	野ノ段	四八六
同	同	同	西河内	四八五、四八三ノ一、四七〇、四六九
同	同	別所	宮木	二八六四、二八六三、二八六二、二八四二、二八四一、二八七五、二八六六ノ一、二八六六ノ二
上房	水田	山田	大出	三、四、六、七、九、一〇、一一
同	同	同	石ノ坊	四六、四七、六六、六七ノ一、六八ノ一、六八ノ二
同	同	同	松迫	六九、七〇ノ一、七一ノ二、七二、七四
眞庭	美川	關	大安	二四一、二四二、二四四、二四〇ノ一、二四七、二四八
同	同	同	皮屋前	二三九ノ二、二三九ノ第一、二三九ノ第二、二三八、二三〇、二二九
同	同	同	龜嶋河原	二一八、二一七
同	同	同	クドリ岸	二一五、二〇六、二〇七、二〇四、二〇二、一九四ノ二、一九三ノ一、一九二ノ一
同	同	同	花ノ木河原	九七五ノ一、九七六、九七七、九七八、九九二ノ一、九九二ノ二、九九〇、九九〇ノ第一
同	同	同	花ノ木	九四七、九四六、九四五、九四四、九四三、九三七、九三六、九三五
同	同	同	大讃白	九二二、九二一、九二三ノ一、九二〇、九一五ノ一、九一一、九一〇、九一二ノ一
同	同	同	下河原	九〇四、九〇二、九〇一、九〇〇、八九九、八九五、八九四、八九三、八九二、八九一、八九〇、八八七、八八八ノ一、八七九ノ一、八七九ノ三、八七九ノ四、八七七、八七六ノ一、八七五ノ二、八七五ノ一、八七四、八七三
同	同	同	大峪	四八九八、四八九七、四八九六ノ二、四八九六ノ一、四八九〇
同	同	同	正谷	四八八九ノ一、四八八九ノ二、四八八六、四八八五、四八八四、四八八三、四八八二、四八六一、四八六二、四八六〇、四八五七、四八五六、四八五五、四八五四、四八五二
同	同	同	坂本	二一三五ノ一、二一三六ノ一、二一三八、二一三九、二一四一、二一四二ノ三、二一四二ノ一、二一四三ノ四、二一四三ノ二、二一四三ノ三
同	同	同	坂本奥	二一五〇、二一四九、二一四八
同	同	同	上瑞	四八三八、四八三七、四八三三

同	同	同	鳴ノ口	二二〇五ノ一、二二〇五ノ二、二二〇四、二二〇一、二二〇〇、二一九九、二一九六、二一九四
同	同	同	欠坂	二三一二ノ一、二三一三、二三一四、二三〇三、二三〇一、二三〇〇、二二九九、二二九八
同	同	同	三堂目	四七一一、四七〇九ノ一、四七〇七ノ一、四七〇七ノ二、四七〇二
同	同	同	箕ノ手	四七〇一、四七〇〇、四六九九、四六九八
同	同	同	轟キ	四六九六、四六九五、四六九四、四六九三、四六八七、四六九一
同	同	同	鳴岩	四六八五、四六八四、四六八三、四六八一、四六七九、四六七八、四六七七、四六六五、四六六四、四六七五、四六七〇、四六六九、四六六八、四六六七
同	同	佐引	小林谷尻リ	一ノ二、一ノ一、三、七ノ一、五ノ一、五ノ三、六、一八、一九、二〇、四
同	同	同	釜岩	二七、二八、二九、三二、三三、三五ノ一、三四ノ二
同	同	同	宮ノ下	一四四ノ一
同	同	同	阿ジリ尾	二二七、二二六、二二八
同	同	同	前田	二三一、二三三、二三六、二四六、二三八、二四四、二四一、二四〇、二三九、二三七
同	同	同	流田	四二一、四四四、四四五、四四六ノ一
同	同	同	柿木田	四四八ノ一、四四九、四五一、四六七ノ一、四六七ノ二、四六八
同	同	別所	槇原	一、二、三ノ一、三ノ三、三ノ二、四ノ二、五ノ一、一〇ノ一
同	同	同	中尾	一三二
同	同	同	宮木向	一三三ノ一、一三三ノ二、一三四、一四五、一四七ノ一、一四八ノ一、一四八ノ二、一七〇ノ二、一七〇ノ三、一七〇ノ一、一七一、一七二ノ一

以上地番ノ内關川ノ中心線ヨリ左右各二十五米ノ地域及同番地先ニ存在スル關川國有川敷及堤塘敷全部

上房	高梁	松山	寺町	二二一一ノ一
同	同	同	荒神畑	二二五六、二二五三
同	同	同	横路	三六二六
同	同	同	盤増田	三四一七
同	同	伊賀町		四四、三二ノ二
同	同	松山	伊賀町	二二六六、二二六七、二二七九、二二八〇
同	同	同	筋ヶ谷	三一一〇
同	同	同	小迫	三一六四
同	同	同	知道上	三二〇四

以上各筆地先ニ存在スル伊賀谷川國有川敷全部

同	同	下町		一四八、一
同	同	鍛治町		五九、五八、五七、五六、五五、一八、一七ノ一、一六、一五、一四、一三、一二、一一、八、七、六、五、四、三、二、一

（未完）

◎農林省告示第三百九號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

昭和十二年九月十八日　農林大臣　伯爵　有馬　頼寧

字	地番	面積
岐阜縣惠那郡加子母村		町段畝歩
杉ケ平	三三ノ二	五二二〇
同	三三ノ五	二八、〇〇〇〇
小郷東	三ノ五二〇	五、〇〇〇〇

◎商工省告示第九十號

東京府東京市麹町區丸ノ内一丁目六番地一明治火災保險株式會社ニ對シ航空保險事業ヲ營ムノ件昭和十二年九月十六日免許シタリ

昭和十二年九月十八日　商工大臣　吉野　信次

◎商工省告示第九十一號

東京府東京市麹町區丸ノ内二丁目六番地三菱海上火災保險株式會社ニ對シ航空保險事業ヲ營ムノ件昭和十二年九月十六日免許シタリ

昭和十二年九月十八日　商工大臣　吉野　信次

◎商工省告示第九十二號

東京府東京市麹町區丸ノ内二丁目十六番地二大正海上火災保險株式會社ニ對シ航空保險事業ヲ營ムノ件昭和十二年九月十六日免許シタリ

昭和十二年九月十八日　商工大臣　吉野　信次

◎遞信省告示第二千八百七十七號

昭和十二年九月十二日限リ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「千島丸託送」ノ項ヲ削除セリ

昭和十二年九月十八日　遞信大臣　永井柳太郎

◎遞信省告示第二千八百七十八號

昭和十二年九月二十日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス

昭和十二年九月十八日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	定繫港	電報取扱種別
第二東洋丸無線電信取扱所（ダイニトウヨウマルムセン）	澤山汽船株式會社所屬汽船第二東洋丸	神戶	無線電報

◎遞信省告示第二千八百七十九號

昭和十二年九月二十日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第二圖南丸」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

昭和十二年九月十八日　遞信大臣　永井柳太郎

局名　第二東洋丸　呼出符號　ＪＨＬＬ

◎遞信省告示第二千八百八十號

昭和十二年九月十一日限リ左記電信取扱所ヲ閉鎖セリ但シ當該所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼セリ

昭和十二年九月十八日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	承繼局
蛟龍丸無線電信取扱所	成田甚太郎所屬汽船蛟龍丸	函館郵便局

◎遞信省告示第二千八百八十一號

昭和十二年九月十二日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「皇國丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年九月十八日　遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
成田蛟龍丸託送（ナリタコウリウマルタクソウ）（成田甚太郎蛟龍丸）	ＪＡＸＢ	各海岸局及各船舶局	和文電報

◎遞信省告示第二千八百八十二號

昭和十二年九月二十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置シ電信及電話通話事務ヲモ取扱フ但シ郵便物集配、電報配達及呼出事務ヲ取扱ハズ

當該局ニ對スル通話ハ加入者相互間ノ通話ニ準ジ之ヲ取扱フ

昭和十二年九月十八日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
神奈川鶴屋郵便局（カナガワツルヤ）	横濱市神奈川區鶴屋町三丁目（神奈川局集配區內）

◎遞信省告示第二千八百八十三號

昭和十二年九月二十一日ヨリ左記郵便取扱所ヲ三等郵便局ニ改定ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハズ

昭和十二年九月十八日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	改定名稱
稻城郵便取扱所	東京府南多摩郡稻城村	稻城郵便局

◎遞信省告示第二千八百八十四號

昭和十二年九月二十一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

昭和十二年九月十八日　遞信大臣　永井柳太郎

現名稱	改稱	位置
氣賀郵便局（ケガ）	氣賀郵便局（キガ）	靜岡縣引佐郡氣賀町

◎遞信省告示第二千八百八十五號

外國郵便爲替金又ハ外國郵便振替金ノ換算ニ適用スベキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

昭和十二年九月十八日　遞信大臣　永井柳太郎

貨幣種別		邦貨一圓ニ對スル外國貨幣額	外國貨幣一單位ニ對スル邦貨額	
佛蘭西貨幣	振出	八「フラン」二十「サンチーム」	フラン	圓 ・一二一九五一
	到著	八「フラン」八十五「サンチーム」	フラン	・一一二九九四

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ從前ノ通

◎遞信省告示第二千八百八十六號

昭和十年九月遞信省令第三十號電氣用品取締規則ニ依リ昭和十二年六月九日左記電氣用品ノ型式ヲ承認セリ

昭和十二年九月十八日　遞信大臣　永井柳太郎

型式承認番號　電氣用品名　型

申請者ノ營業所及名稱　東京市品川區大井鮫洲町一九一番地　合資會社石井製作所

▽第四－〇　三六七號　カットアウト　一二五ヴォルト　五アムペア　一線一極

右有效期限　昭和十五年九月三十日

申請者ノ營業所及名稱　福岡市上辻堂町十五番地　株式會社正興商會

▽第四－〇　三六八號　可熔筒　二五〇ヴォルト　一〇〇アムペア　ファイバー筒　再用叉形端子

▽第四－〇　三六九號　同　二五〇ヴォルト　七五アムペア　ファイバー筒　再用叉形端子

▽第四－〇　三七〇號　同　二五〇ヴォルト　六〇アムペア　五〇アムペア　ファイバー筒　再用叉形端子

▽第四－〇　三七一號　同　二五〇ヴォルト　三〇アムペア　二〇アムペア　硝子筒　再用筒形端子

以上有效期限　昭和十六年九月三十日

◎遞信省告示第二千八百八十七號

昭和十年九月遞信省令第三十號電氣用品取締規則ニ依リ昭和十二年六月十二日左記電氣用品ノ型式ヲ承認セリ

昭和十二年九月十八日　遞信大臣　永井柳太郎

申請者ノ營業所及氏名　東京市淺草區松葉町一二一番地　淺田電機製作所　淺田秀治

型式承認番號　電氣用品名　型

▽第八－〇　三一五號　電氣天火　C型　一〇〇ヴォルト　七〇〇ワット　八〇〇ワット　九〇〇ワット　一、〇〇〇ワット

▽第八－〇　三一六號　同　D型　一〇〇ヴォルト　一、五〇〇ワット　一、六〇〇ワット　一、七〇〇ワット　一、八〇〇ワット　一、九〇〇ワット　二、〇〇〇ワット

以上有效期限　昭和十六年九月三十日

◎遞信省告示第二千八百八十八號

昭和十年九月遞信省令第三十號電氣用品取締規則ニ依リ昭和十二年六月二十六日左記電氣用品ノ型式ヲ承認セリ

昭和十二年九月十八日　遞信大臣　永井柳太郎

型式承認番號　電氣用品名　型

申請者ノ營業所及名稱　大垣市林町一五〇七番地　大垣電線株式會社

▽第一－〇　二四四號　第一種絕緣電線　硬銅單線　二・六粍　二・〇粍

▽第一－〇　六〇六號　第二種絕緣電線　軟銅單線　一・六粍

▽第一－〇　六〇七號　同　硬銅單線　二・六粍　二・〇粍

以上有效期限　昭和十六年九月三十日

申請者ノ營業所及名稱　東京市品川區五反田一丁目二六三番地　株式會社弘業製作所

▽第一一－〇　一三三號　電流制限器　ＮＣＢ型　三極　二五〇ヴォルト　五〇－六サイクル　三〇アムペア

右有效期限　昭和十五年九月三十日

敍任及辭令

◎昭和十二年九月一日

正八位　木山　繁義
同　內藤　蕃
同　高橋　勘二郎
同　末永　茂次郎
同　西　清
同　若松　一夫
同　竹中　三郎
同　伊藤　一義
同　伊藤　五郎
同　渡邊　二郎
同　大橋　末夫
同　有吉　實成
同　佐久間　忠夫
同　小倉　辰次郎
同　中村　清重
同　白石　申三
同　山縣　勝
同　山田　滿
同　古山　修郎
同　山崎　壽
同　關島　三郎
同　藤村　重任
同　辻　靜男
同　三浦　十三
同　櫻庭　誠三
同　西部　徹一
同　吉田　銕太郎
同　佐藤　德
同　小林　直一
同　吉住　種美
同　辻本　福治
同　北村　直正
同　早川　和郎
同　本谷　弘
同　丸屋　育造
同　酒井　喜久次
同　尾形　清
同　浦田　義夫
同　藤井　宏
同　久野　勳
同　陰山　義衞
同　木原　敏二郎
同　北村　令三郎
同　明星　四郎
同　長瀨　顯之介
正八位勳八等　石川　久吉
同　寺崎　與太郎
正八位　藤本　起
同　吉田　幸一
同　河口　直
同　栗生　功
同　齋藤　美鶯
正八位勳八等　森川　留藏
同　水野　乗吉
同　小野寺　勉
同　高井　辰之丞
正八位　飯尾　裕幸
正八位勳六等　高橋　直吉
正八位勳七等　丸山　哲二
正八位　重永　忠雄
正八位勳六等　石原　毅
同　小林　庄吉
同　三浦　逵馬
同　池永　伍一
正八位勳七等　香川　勘藏
正八位　高橋　義光
正八位勳七等　龜田　末治
正八位勳六等　藤倉　長太郎
同　大嶋　卓治
同　淺沼　紀平
同　吉留　彌八
同　中村　佐平
同　大塚　留吉
同　遠藤　円吉
同　齋藤　茂
同　角田　寅吉
正八位勳五等　佐橋　勝一
同　白村　悅次
同　福島　銀市
同　村瀨　治太郎
同　岩田　誠一
正八位勳六等　室谷　棟
同　青木　莊八
同　藤本　興作
正八位勳七等　金中　松一
正八位勳六等　江川　守比古
同　中村　杢三郎
同　遠家　亀市
同　阿應　重雄
正八位勳七等　土居　太留夫
正八位勳五等　上村　欽二郎
正八位勳七等　野村　太郎
同　志賀　明
正八位勳六等　竹下　春貞
同　三宅　末彥
正八位勳七等　河野　隆夫
正八位勳六等　永里　恒彥
同　有薗　寬
同　小川　千代藏

第3215号　本文

同　中野　圓治
正八位勳六等功七級　小枝　八五郎
正八位勳六等　小野寺　武
同　金田　志一
同　大塲　信平
同　水本　守仁
同　吉田　一二
同　朝山　善範
同　竹腰　脩治
同　目澤　廣吉
同　堀江　貞八
同　寺田　富吉
同　前田　敏中
同　長田　謙三
同　寺坂　尚
正八位　武田　二郎
正八位勳六等　德永　節二郎
正八位勳七等　今川　義雄
正八位勳六等　三好　菊治郎
同　川久保　男幸
同　香月　則久
同　野上　正
同　大浦　福
同　吉木　勇太郎
同　川畑　元吉
同　堤　袈裟市
同　渡邊　登公次
同　久信田　廣
正八位　鈴木　貞夫
正八位勳六等　赤松　市五郎
同　薄井　善春
同　富澤　喜一
同　青木　信孝
正八位勳六等功七級　伊藤　今朝長
正八位勳五等　佐橋　三治郎
同　田村　慶次
同　大江　正一
同　松野　亮作
正八位勳六等　伊藤　清市
（各通）

正八位勳五等　栗田　丈夫
同　福嶋　忠弘
正八位勳六等　花吉　松雄
同　照沼　清松
同　木村　二郎
同　眞田　德太郎
同　葛城　義人
同　梅野　清右衛門
同　中村　正雄
同　吉崎　義德
同　赤木　忠雄
正八位勳七等　神田　富一
正八位勳六等　矢谷　逸夫
同　田坂　勘太郎
同　石井　數夫
同　坂本　相良
同　吉森　猛
同　松田　義正
同　野口谷　五郎
正八位　皆川　昇平
正八位勳七等　久保　喜栄
正八位勳六等　小川　幸次郎
正八位勳七等　今村　要三
正八位勳六等　藤田　喜亮
正八位勳五等　松本　次郎
同　鈴木　平弍
正八位勳七等　田尻　繁治
正八位勳六等　大田　清一
正八位勳七等　佐々木　扶
正八位　西村　傳
正八位勳六等　伊藤　鐵藏
同　佐藤　義吉
同　本多　粂三郎
正八位勳六等　伊藤　憲治
正八位勳六等　岡田　義廣
正八位勳七等　三谷　寛
同　小沢　敏潐
正八位勳六等　松田　喜一郎
同　佐々木　正人

正八位勳七等　小野　廣志
正八位勳五等　梶野　岩治
同　笠原　治郎
正八位勳六等　加藤　隆
同　中野　政人
同　遠藤　[illegible]雄
正八位勳七等　中村　榮
正八位勳六等　境　熊太郎
正八位勳六等功七級　古田　勝次
正八位勳六等　藤原　夏夫
正八位　師岡　留多
正八位勳七等　菖蒲　繁雄
正八位勳六等　菰方　七郎
同　信友　正一
同　谷脇　旦藏
同　中野　唯一
同　福岡　源一
正八位勳七等　城谷　鎭海
正八位勳六等　安原　聿海
同　中川　良
正八位勳七等　須藤　久七
同　松田　由太郎
正八位勳六等　渡邊　誠治
同　木村　次郎
正八位勳七等　渡邊　賢
正八位勳六等　石野　淺一郎
同　中村　豊愃
正八位勳七等　梅田　幸一
正八位勳六等　片桐　勇
同　楠本　留之助
正八位　山口　駃三郎
正八位勳六等　吉野　政五郎
同　岩下　彌作
同　飯田　一三
正八位　白數　久雄
正八位勳六等　松本　桂一
同　大野　瀧夫
同　関　直佐
正八位　折茂　一郎

正八位勳六等　好田　保
同　本田　吉雄
正八位　茂木　甫
正八位勳五等　阿部　金重
同　小久保　重吉
正八位勳七等　柏原　三一
正八位勳六等　神野　敬二
同　金木　德三郎
同　三浦　久
同　栃木　省躬
正八位勳七等　三村　吉榮
正八位勳六等　上島　清次
同　中川　守一
正八位　神田　實
正八位勳七等　林　八助
正八位　伊藤　禧正
正八位勳六等　春名　市良平
同　櫻澤　六郎
正八位　中西　瀧男
正八位勳六等　田和　稔
正八位　平岡　登
同　赤堀　宗作
正八位勳七等　南川　宇市
正八位　榊　政行
正八位勳六等　澤村　源六
同　北村　乃木治
同　橋本　進
正八位　石川　千代藏
正八位勳六等　藤原　武夫
正八位勳七等　眞鍋　鶴吉
同　宮永　築
正八位　川添　勝
正八位勳六等　西ヶ谷　武正
同　堤　政雄
同　今泉　一朗
正八位　青木　覺三
正八位勳七等　本郷　新吉
正八位勳六等　遠藤　卓次
同　角田　兵吾

正八位勳六等功七級　橋本　正勝
正八位　生田目　富雄
正八位勳五等　淺見　勝平
正八位勳六等　鈴村　義雄
同　田村　秀雄
同　渡邊　策市
同　片倉　壽人
同　信濃　龜五郎
正八位勳七等　山下　國造
同　森田　勇
正八位勳六等　帶包　正基
正八位勳七等　朝倉　勘一
正八位勳六等　堺　伊三雄
正八位　木下　壽人
同　山野内　祐次郎
同　松尾　大人
同　古川　郁四郎
正八位勳六等　菊島　廣
正八位　砂田　敏夫
同　柳瀬　憲一
同　稲田　壽郎
同　保母　憲二
同　岡村　良男
同　大島　正雄
同　遠藤　榮
同　吉津　博
同　大田黒　猪一郎
同　高橋　善彌
同　蜂谷　忠利
同　碓井　博司
同　伴　正治
同　橋本　敏雄
同　佐々木　建夫
同　松藤　久光
同　近藤　正也
同　山科　清
同　根本　愼吾
同　山下　嘉明
同　大森　繁

同　永山　武久
同　廣間　健太郎
同　三澤　剛文
同　角田　安雄
同　市原　清吉
同　今田　幸雄
同　西田　粂男
同　外島　進一
同　松井　卓爾
同　市川　孝一
同　酒井　正一
同　伊藤　高保
同　小川　信雄
同　池田　三郎
同　内池　孝一郎
正八位勳六等　奥村　逸造
正八位　高島　義一
正八位勳七等　秋山　誠
正八位　嶋　八郎
同　佐藤　兼雄
同　豊田　松雄
同　小長谷　喜一
同　松尾　實
同　三宅　忠雄
同　二宮　正明
同　玉村　武
同　小林　友一
同　永田　廉
同　藤吉　誠之
同　舩木　繁
同　和高　正
同　進士　正吉
同　木島　隆一
同　大高　政樂
同　砂川　清治
同　清水　一承
同　伊藤　常男
同　白木　義孝
同　窪田　十三芳

同　成瀬　裕一
同　樋下　嘉七
同　川野　剛一
同　小鷲　武雄
同　佐々木　盛衛
同　大泉　製正
同　眞藤　巖
同　花見　侃
同　朝比奈　達男
同　山本　登
同　新田　修
同　古木　秀策
同　佐藤　智介
正八位勳六等　山本　要
同　伊藤　良夫
同　倉田　宏
正八位　村野　保男
正八位勳六等　館　寛治
同　根來　卓美
同　梅田　定男
同　岩倉　和男
同　野口　剛一
同　小林　正孝
同　都築　豊吉
正八位　佐藤　正義
同　安村　壽吉
同　白井　三夫

敍從七位
◎昭和十二年九月十六日　中野　四郎
敍正八位
◎昭和十二年九月十七日
遞信技手兼遞信局技手陸軍砲兵伍長　石瀬　二郎
任遞信技師
敍高等官七等
鐵道局副參事正七位　川原　道正
兼任遞信局事務官
敍高等官六等

通信書記從七位勳八等　鹿島　孝德
任遞信局事務官
敍高等官七等
遞信屬兼通信書記勳八等　杉木　常助
任遞信局事務官兼遞信省事務官
敍高等官七等
遞信局技手　中谷　勝紀
同　角山　良一
同　片岡　隆
同　早川　勝夫
同　關谷　紀
（各通）
任遞信局技師
敍高等官七等
通信書記兼遞信局書記從六位勳六等　小島　次郎
任通信事務官
敍高等官六等
遞信屬兼通信書記勳八等　中川　清
任通信事務官兼遞信局事務官
敍高等官七等
朝鮮總督府司税官從六位勳六等　淺間　健
任朝鮮總督府銀行檢査官
敍高等官五等
朝鮮總督府屬勳八等　增子　善重
（各通）
朝鮮總督府税務監督局屬　金　聖煥
任朝鮮總督府司税官
敍高等官七等
愛知縣屬勳八等　小岩　正一
任地方事務官
敍高等官七等
栃木縣立矢板農學校教諭從七位　古口　唯
愛知縣安城農林學校教諭兼愛知縣安城農林學校舍監　石田　滿
（各通）
愛知縣安城農林學校教諭　寺部　勝治
青森縣立商業學校教諭　西村　信雄
公立實業學校教諭ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
公立實業學校教諭　石田　滿
公立實業學校舍監ニ兼任ス

第 3215 号 本文

公立實業學校教諭從六位 佐々木雄四郎
青年學校教員養成所教諭ニ任ス
高等官五等ヲ以テ待遇セラル
師範學校教諭從七位 桑原 恭助
社會教育主事ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
朝鮮總督府教誨師 淺井 暎雄
朝鮮總督府教誨師ニ任ス

朝鮮總督府司税官 吉野 敏夫
關東醫院醫官 松田 一彥
地方事務官 大河原昌勝
同 横山 正夫
(各通)
依願免本官
公立中學校教諭 小林康太郎
公立高等女學校教諭 奥田 富雄
(各通)
願ニ依リ本職ヲ免ス
新竹州竹東郡横山庄長 温 安 禎
奏任官ヲ以テ待遇セラル(以上九月十日內閣)
外務書記官 宮崎 申郎
外務書記官林安不在中文化事業部第一課長代理ヲ命ス
領事(ロスアンゼルス) 堀 公一
天津在勤ヲ命ス(以上九月十七日外務省)
國幣中社海神神社宮司 矢田 季夫
七級俸下賜(九月十四日內務省)
官幣大社平安神宮宮司 加藤 直久
一級俸下賜(九月十日同)
公立實業學校教諭 古口 唯
栃木縣立矢板農學校教諭ニ補ス
公立實業學校教諭兼公立實業學校舍監 石田 滿
愛知縣安城農林學校教諭兼愛知縣安城農林學校舍監ニ補ス
公立實業學校教諭 寺部 勝治
愛知縣安城農林學校教諭ニ補ス
同 西村 信雄
青森縣立商業學校教諭ニ補ス
同 大和 武七
福岡縣嘉穗農學校教諭ニ補ス

青年學校教員養成所教諭 佐々木雄四郎
鹿兒島縣立青年學校教員養成所教諭ニ補ス
社會教育主事 桑原 恭助
福岡縣社會教育主事ニ補ス(以上九月七日文部省)
工藝指導所技師 齋藤 信治
宮城縣及東北北海道工藝協會主催第八回東北北海道工藝品展覽會第二部審査部長ヲ命ス
同 寺坂 毅
宮城縣及東北北海道工藝協會主催第八回東北北海道工藝品展覽會第一部審査部長ヲ命ス(以上九月十六日商工省)
簡易保險局理事 出塚 莇助
賜二級俸
同 生田 武夫
簡易保險局業務長ヲ命ス
賜二級俸
簡易保險局書記官 高橋 等
七級俸下賜
簡易保險局監理課長ヲ命ス
遞信局書記官 堀 雄一
熊本遞信局規畫課長ヲ命ス(以上九月十六日遞信省)
土木主事 土岐 一誠
十級俸下賜(九月八日北海道廳)
衛生技師 山大路泰雄
六級俸下賜(九月六日大阪府)
道路技師兼土木技師 佐藤愛次郎
五級俸下賜(九月九日同)
社會事業主事 横田 季雄
十二級俸下賜(九月八日滋賀縣)
土木技師兼道路技師 佐藤東次郎
五級俸下賜(九月十日宮城縣)
地方農林技師 幸福 喜內
十一級俸下賜(九月八日山形縣)
土木技師兼道路技師 八木 三男
七級俸下賜(八月三十一日秋田縣)

社會事業主事 秦 秀夫
十二級俸下賜(九月六日同)
地方農林技師 福井 清
十一級俸下賜(九月十日富山縣)
師範學校教諭 楠瀨 洋吉
八級俸賞分年俸千四百五拾貳圓下賜(九月十日高知縣)
同 高橋東之助
(各通)
公立中學校教諭 近森盛之助
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十二年三月三十一日ヨリ年功加俸年額金百五拾六圓下賜
同 山田 直
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十二年三月三十一日ヨリ年功加俸年額金貳百貳拾貳圓下賜
同 清水 周貞
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十二年四月十五日ヨリ年功加俸年額金百五拾六圓下賜
同 山邊 進
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十二年四月二日ヨリ年功加俸年額金百五拾六圓下賜
公立高等女學校教諭 岡 淳
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十二年一月二十六日ヨリ年功加俸年額金百五拾六圓下賜
同 吉村 重德
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十二年四月七日ヨリ年功加俸年額金貳百貳拾貳圓下賜
公立實業學校教諭 大村 丈夫
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十二年四月四日ヨリ年功加俸年額金百五拾六圓下賜
同 三好 孝成
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十二年四月七日ヨリ年功加俸年額金百五拾六圓下賜(以上九月十日同)

正誤

本月三日本欄七五頁四段井系孝一ノ辭令文中「兼福岡縣女子師範學校教諭」ハ「兼福岡縣女子師範學校舍監」ノ誤
文部書記官
昨十七日同四七七頁三段「原田武夫」ハ「原口武夫」四七八頁一段奥田富雄ノ辭令文中「高等官六等」ハ「高等官五等」ノ孰モ誤植

宮廷錄事

◎御答電　本月十五日 天皇陛下ヨリサルヴァドル國大統領閣下ヘ御發送ノ御祝電ニ對シ昨十七日御答電アリタリ

◎御救恤　今般高知兵庫岡山德島ノ各縣下暴風雨ノ爲被害不尠趣聞食サレ御救恤トシテ 天皇 皇后兩陛下ヨリ各金壹封宛ヲ下賜セラレタリ

彙報

○官廳事項

◎轉勤　朝鮮忠淸北道公立普通學校長(奏任待遇)朝鮮公立普通學校訓導小松榮德ハ去月三十一日官基公立普通學校勤務同校長ヲ命セラレタリ

◎教職死去　公立中學校教諭從六位吾鄕良之助ハ去月九日死去セリ

○司法

◎公證人死去　東京民事地方裁判所所屬公證人正四位勳四等肥田健吉ハ去月二十九日卒去セリ(司法省)

◎公證人任命　從四位勳四等鈴木賀一郎ハ昨十七日公證人ニ任セラレ東京民事地方裁判所所屬及故公證人肥田健吉ノ後任ヲ命セラレタリ(司法省)

○統計

◎全國及都市別生計費指數　內閣統計局調査ニ係ル昭和十二年八月分全國及都市別生計費指數左ノ如シ

(一)概況

勞働者生計費指數

暫定的ニ本年七月ヲ一〇〇トスル全國主要二十四市平均ノ八月分勞働者生計費指數ハ一〇〇・六ニシテ前月ニ比シ六厘ノ微騰ヲ示セリ之ヲ五大費別ニ見レハ飲食料費ハ一分一厘、光熱費ハ一分、住居費ハ一厘、其他ノ諸費ハ一分ノ昂騰ヲ示シ被服費ハ一分三厘低落ヲ示セリ

各調査都市中前月ニ比シ昂騰ヲ示シタルハ十七都市ニシテ新潟二分五厘、山形一分九厘、八幡一分七厘、仙臺一分六厘、札幌・松本各一分五厘、前橋・廣島各一分二厘、大阪一分、郡山・今治・熊本各九厘、神戸八厘、京都六厘、名古屋三厘、横濱・濱松各一厘ノ上昇ナリ之ニ反シ低落ヲ見タルハ七都市ニシテ延岡一分一厘、金澤五厘、鳥取四厘、東京・德島・長崎各二厘、岡山一厘ノ低下ニ該レリ

給料生活者生計費指數

本年七月ヲ一〇〇トスル全國主要十市平均ノ八月分給料生活者生計費指數ハ勞働者生計費指數ト同様一〇〇・六ニシテ前月ニ比シ六厘ノ微騰ヲ示セリ之ヲ五大費別ニ見レバ飲食料費ハ一分二厘、光熱費ハ九厘、住居費ハ一厘、其他ノ諸費ハ一分ノ昂騰ヲ示シ被服費ハ一分二厘低落ヲ示セリ

各都市中前月ニ比シ昂騰ヲ示シタルハ六都市ニシテ仙臺一分七厘、八幡一分五厘、札幌一分二厘、名古屋・大阪各一分一厘、廣島一分上昇セリ之ニ反シ低落ヲ見タルハ四都市ニシテ東京七厘、金澤六厘、德島二厘、長崎一厘ノ低下ニ該レリ

(二)全國生計費指數(昭和十二年七月基準暫定指數)

	勞働者	給料生活者
生計費指數	一〇〇・六	一〇〇・六
內譯		
飲食料費	一〇一・一	一〇一・二
住居費	一〇〇・一	一〇〇・一
光熱費	一〇一・〇	一〇〇・九
被服費	九八・七	九八・八
其他ノ諸費	一〇一・〇	一〇一・〇

(三)各都市生計費指數(昭和十二年七月基準暫定指數)

(1)勞働者

都市	指數
札幌市	一〇一・五
仙臺市	一〇一・六
山形市	一〇一・九
郡山市	一〇〇・九
前橋市	一〇一・二
東京市	九九・八
横濱市	一〇〇・一
新潟市	一〇二・五
金澤市	九九・五
松本市	一〇一・五
濱松市	一〇〇・一
名古屋市	一〇〇・三
京都市	一〇〇・六
大阪市	一〇一・〇
神戸市	一〇〇・八
鳥取市	九九・六
岡山市	九九・九
廣島市	一〇一・二
德島市	九九・八
今治市	一〇〇・九
八幡市	一〇一・七
長崎市	九九・八
熊本市	一〇〇・九
延岡市	九八・九

(2)給料生活者

都市	指數
札幌市	一〇一・二
仙臺市	一〇一・七
東京市	九九・三
金澤市	九九・四
名古屋市	一〇一・一
大阪市	一〇一・一
廣島市	一〇一・〇
德島市	九九・八
八幡市	一〇一・五
長崎市	九九・九

○陸海軍

◎水路告示第三十六號　(一〇二〇項…一〇四三項)

昭和十二年九月十八日　水路部長　太田垣富三郎

◉12年1020項

本州北西岸—新潟港　航空燈臺設置

記事　新潟市西堀前通ニ「新潟新聞社航空燈臺」ヲ設置シ昭和12年9月1日點燈ヲ開始セリ

位置　新潟港防波堤燈臺ヨリ 208½° 4,610米 Lat. 37° 55'.2 N. Long. 139° 02'.8 E. (概位)

略記　Air Alt. Gp. Fl. (3) R. G. W.

細目　燈質群閃紅綠白互光毎20秒ニ3閃(閃紅0.17秒, 暗4.8秒, 閃綠0.17秒, 暗4.8秒, 閃白0.17秒, 暗9.89秒) ◉燈高平均水面上38米 ◉光達約75粁(約40浬) ◉燭光數2,500,000 ◉明弧全度 ◉構造屋上ノ鐵骨櫓形塔, 礎上燈高36.8米 ◉點燈時間日沒至日出 ◉新潟新聞社立

海圖　145—146—144—1154—1070

誌類　燈誌1B. 120頁—燈誌100A. 3056番a (挿入)

出所　昭和12年9月8日官報遞信省告示2710號, 遞信省航空局

◉12年1021項(一時關係)

紀伊水道東側—和歌山港　假設燈竿流失

記事　和歌山港假設第2號及第4號燈竿ハ流失セリ

位置　(1)假設第2號燈竿　北防波堤外端　Lat. 34° 12'.7 N. Long. 135° 08'.2 E. (概位)
(2)假設第4號燈竿　北防波堤中央附近　Lat. 34° 13'.0 N. Long. 135° 08'.3 E. (概位)

略記　F. R. 4m. 5¼ M. (U)(2基共)

海圖　98—106—77—100A

誌類　燈誌2追.11頁, 12頁—燈誌100A.127番,128番

出所　燈臺局

◉12年1022項(豫告)

內海　燧灘南側—新居濱港　燈臺設置

記事　新居濱港東西兩防波堤外端ニ燈臺設置ノ豫定ナリ

(1)東防波堤燈臺

位置　防波堤先端　Lat. 33° 58'.6 N. Long. 133° 16'.1 E. (概位)

略記　Occ. ev. 6 sec. 12 m. 11½ M. (豫告)

細目　燈質明暗白光,毎6秒ニ1光(明3秒,暗3秒) ◉燈高平均水面上11.6米 ◉光達11.5浬 ◉等級5等 ◉明弧全度 ◉構造白塗燈形鐵造

(2)西防波堤燈臺

位置　防波堤先端　Lat. 33° 58'.6 N. Long. 133° 15'.9 E. (概位)

略記　Occ. R. ev. 6 sec. 12m. 11½ M. (豫告)

細目　燈質明暗紅光,毎6秒ニ1光(明3秒,暗3秒) ◉構造紅塗燈形鐵造 ◉其ノ他(1)ニ同ジ

備考　上記燈臺設置ト共ニ(1)位置西方至近ニ設置セル從來ノ伊豫新居濱港假設紅燈浮標ハ撤去ノ豫定ナリ

海圖　102(新居濱港)—153—100A—100B

誌類　燈誌2追.44頁—燈誌100A.334番

出所　遞信省燈臺局

◉12年1023項

內海　周防灘—宇部港　航行及碇泊禁止

記事　宇部港內修築工事ノ爲內務省浚渫作業船ヲ中心トスル半徑100米ノ圈內ハ一般船舶ノ航行及碇泊ヲ禁止シ,尙該區域ノ周圍ニ於テ紅塗浮標ヲ以テ標示スル海面ハ碇泊ヲ禁止ス

位置　宇部港　Lat. 33° 56'.4 N. Long. 131° 14'.3 E. (概位)

備考　上記紅塗浮標ハ作業船ヨリ延出セル錨鎖ノ先端ヲ示スモノナリ

注意　海圖上方欄外右端ニ記載シアル注意記事ノ西方ニ別紙記事(1枚)ヲ貼附ス

海圖　(注意) 127

誌類　燈誌2追. 71頁

出所　昭和12年9月8日山口縣令78號

◎12年1024項(豫告)
內海　周防灘—宇部港　燈臺ニ就テ
記事　11年917項ヲ以テ設置ノ旨豫告セル「宇部港東防波堤燈臺」及「宇部港南防波堤東燈臺」ハ下記ノ通ニシテ昭和12年11月1日ヨリ點燈ヲ開始ノ豫定ナリ
(1)宇部港東防波堤燈臺
位置　東防波堤西端
Lat. 33° 56′.1 N.　Long. 131° 14′.6 E.
(概位)
略記　Fl. R. ev. 3 sec. 10 m. 8 M. (U)(豫告)
細目　燈質閃紅光,每3秒ニ1閃●燈高平均水面上10.2米●光達8浬●燭光數65,等級無等●明弧全度●構造紅塗,上部四角形格鐵造,下部四角コンクリート造,礎上燈高7米●無看守
(2)宇部港南防波堤東燈臺
位置　南防波堤東端
(1)位置ノ西方　約50米
略記　Fl. ev. 3 sec. 10 m. 8½ M. (U)(豫告)
細目　燈質閃白光,每3秒ニ1閃●光達8.5浬●燭光數80●構造白塗,上部四角形格鐵造,下部四角形コンクリート造●其ノ他東防波堤燈臺ニ同シ
海圖　127——1101——100B
誌類　誌2. 285頁——誌100A. 66頁——11年917項(削除)
出所　昭和12年9月9日官報遞信省告示2,733號

◎12年1025項
內海—別府港　目標
記事　別府港大阪商船會社棧橋上ニ燈竿2基,北防波堤上ニ高サ約9米ノ廣告燈アリ夜間前者ハ白燈ヲ,後者ハ紅燈ヲ點シ共ニ遠望顯著ナリ又同棧橋內端附近南側ニ防沙堤及防波堤內西方海岸ニ水上巡査派出所アリ
位置　Lat. 33° 16′.4 N.　Long. 131° 30′.6 E.
(概位)
注意　(1)別紙貼附圖(2面)ニ依リ海圖ヲ改補ス
(2)書誌2號265頁末行「,日本航空會社」ヲ削除ス
(3)書誌2號追. 66頁「265頁28行至266頁1行」欄及同67頁「266頁3行」欄ヲ削除ス
海圖　1219(分圖共)
誌類　†誌2. 266頁——(注意2誌2. 265頁——(注意3)誌2追. 66頁、67頁
出所　別府市役所,大阪商船株式會社別府支店

◎12年1026項*
九州北岸　伊萬里灣外—馬渡島南方　漁礁ニ就テ
記事　12年829項ヲ以テ告示セル馬渡島南方ニ於ケル漁礁ヲ圖誌ニ記載ス
位置　馬渡島番所ノ辻△(238)ヨリ　179°　4,100米
Lat. 33° 32′.1 N.　Long. 129° 45′.2 E.
(概位)
水深　49米
注意　(1)海圖上上記位置ニ危險界線ヲ繞ラセル水深49米ヲ記載シ,之ニ「漁礁」及「(昭和12年)」ヲ附記ス
(2)書誌4號追13頁下ヨリ2行「64頁10行」ノ欄ヲ削除ス
海圖　166——1228——198——179
誌類　†誌4. 64頁——(注意2)誌4追. 13頁——12年829項(削除)
出所　佐賀縣水產會

◎12年1027項
Sumatra 東岸—Rhio Strait 東方附近　水中障碍物不存在
位置　Admiral Stelling Werf Rb. ノ北東方約11.3浬
Lat. 0° 44′.0 N.　Long. 105° 17′.5 E.
(概位)
注意　海圖上記載セル○符及附記セル「障碍物」、"(P.A)"及「(1934年)」ヲ削除ス
海圖　586——609——529B
前告示　誌16. 205頁貼附ノ9年924項(削除)
出所　Hague 告示1937年112項

◎12年1028項
圖誌訂正
(1)海圖112號
紀伊水道西側　撫養ノ瀨戶內(Lat. 34° 11′.8 N. Long. 134° 35′. 6E. 概位)瀨戶町ト對岸高島町トノ間ニ水底電線1條ヲ增設セリ仍ツテ別紙附圖(1面)ニ依リ海圖ヲ改補ス(昭和12年6月14日官報遞信省告示1650號)
(2)海圖142號
(イ)內海廣島港宇品島西側築港部分(Lat. 34° 21′.4 N. Long. 132° 27′.7 E. 概位)現狀及廣島市內ヨリ宇品突岸ニ至ル電車鐵道ハ圖載ノモノト相違ス仍ツテ別紙貼附圖(3面ニ依リ海圖ヲ改補ス
貼附圖ノ1. 總圖上 Lat. 34° 20′.0 N. Long. 132° 35′.0 E.(概位)=分圖「廣島港」ヲ挿入
貼附圖ノ2. Lat. 34° 24′.6 N. Long. 132° 24′.5 E. (概位)
貼附圖ノ3. Lat. 34° 21′.7 N. Long. 132° 27′.7 E. (概位)
(ロ)總圖上ひがしひろしま驛(Lat. 34° 23′.5 N. Long. 132° 29′.1 E. 概位)ヨリ北方ニ至ル鐵道線路ニ附記シアル名稱「地方鐵道」及昔實新聞附近(Lat. 34° 21′.8 N. Long. 132° 28′.4 E. 概位)ヨリ東方海田市町ニ至ル電車線路ヲ削除ス(內務省大阪土木出張所)
(3)海圖198號——213號——187號——302號——180號
九州西岸佐世保港口洗出シノ瀨(Lat. 33° 05′.5 N. Long. 129° 39′.9 E. 概位)ノ水深"10_9"ヲ"11_2"ニ改記ス(水路部)
(4)海圖221號——1221號
九州南岸鹿兒島灣東側古江港(Lat. 31° 23′.9 N. Long. 130° 46′.1 E. 概位)ハ修築工事施行中ナリ仍ツテ別紙貼附圖(2面)ニ依リ海圖ヲ改補ス(12年587項參照)(遞信省管船局)(鹿兒島縣)
(5)海圖383號——356號——392號
渤海白河口北砲臺〔North Mound〕附近ノ○ヨリ106¼°約7.63浬(Lat. 38° 57′.6 N. Long. 117° 51′.7 E. 概位)=圖載シアル沈船(沈船上ノ水深7.3米)ヲ附記ノ"沈船(1914年)"ト共ニ削除ス(水路部)
(6)海圖1263號(麗水港)——342號——1254號——1253號
朝鮮南岸麗水港北港(Lat. 34° 44′.7 N. Long. 127° 45′.5 E. 概位)內ハ昭和11年7月測量シれいすゐこう驛ノ南方海岸ノ埋立ハ完成セリ仍ツテ別紙貼附圖(4面)ニ依リ海圖ヲ改補ス(朝鮮總督府內務局覽永土木出張所)
(7)書誌2號
82頁9行至10行ヲ　別紙(1枚)貼附ニ依リ訂正ス
(8)書誌4號追
24頁下ヨリ4行中「水深「10.9米」ヲ「水深11.2米」ニ改記ス(水路部)
(9)書誌6號A追(昭和12年6月刊行)
43頁「279頁18行至23行」ノ欄3行中「零度」ヲ「北方」ニ改記ス(海圖1263號參照)
(10)書誌12號B
(イ)213頁及220頁貼附ノ8年557項ヲ削除ス
(ロ)220頁2行至3行ヲ別紙(1枚)貼附ニ依リ訂正ス(旅順要港部)
(11)書誌90號A
(イ)目次5頁15行及16行ヲ　別紙(1枚)貼附ニ依リ訂正ス
(ロ)海軍燃料廠沿岸益ニ突堤竝ニ繫船取締規程ニ關シ第22回挿換紙(277頁至278頁削除、挿入)ヲ頒布ス所要ノ向ハ水路圖誌販賣所ヨリ交付ヲ受クルコトヲ得(海軍燃料廠)
(ハ)198頁下ヨリ5行中「朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ」ヲ削除ス(昭和12年9月9日　朝鮮總督府官報府令140號)
(12)書誌100號A
716番志布志港口導燈(後燈)位置欄中"27° 38′"ヲ"26° 55′"ニ改記ス(12年1002項參照)
(13)書誌100號B
1514番燭光數等級欄「$_{10}$弱」ヲ「$_{6}$」ニ改記ス(Hawaii 告示1937年32號)
(14)書誌220號(昭和12年水路圖誌目錄)
(イ)11頁左欄6911番燈欄「60」ノ次ニ「◎20」ヲ追記ス
(ロ)31頁2欄海圖142號圖名及尺度欄「廣島灣‥‥1：75,000」ノ次ニ「(分圖)廣島港‥‥1：16,000」ヲ挿入ス(12年1028項)

◎12年1029項(2區)
Sumatra 東岸—Billiton I. 南東方　淺瀨及干出礁存在
位置及水深　「ベンガピエト」島南東端(Lat. 3° 20′.2 S. Long. 108° 27′.3 E. 概位)ヨリノ

	方位(度)	距離(浬)	水深(尋)(米)
(1)	198(S. 17 W.)	3.1	1½(3)
(2)	189(S. 8 W.)	3.8	2½(4.7)
(3)	185(S. 4 W.)	4.2	干出礁

注意　海圖上(1)位置ニ水深"1½"(2)位置ニ水深"2½"、(3)位置ニ危險界線ヲ繞ラセル小干出岩符(「干出ス」附記)ヲ記載ス
偏差　1° E.
海圖　588——(3)609
誌類　†誌16. 158頁
出所　Hague 告示1937年542項

◎12年1030項(2區)
南太平洋　New Caledonia 北東岸—Kua Bay 浮標撤去
位置　Kua Bay 中央
Lat. 21° 20′.2 S.　Long. 165° 48′.4 E.
(概位)
樣式　黑塗圓錐形
注意　書誌22號A. 112頁末行ヲ削除ス
海圖　2401——2402
誌類　(注意)誌22A. 112頁
出所　米告示1937年2299項

◎12年1031項(2區)
Australia 東岸　New South Wales—Newcastle Harbour 檣船浮標撤去
位置　Newcastle Harbour 入港用導燈後燈(Red Tower)(不動白光)ヨリ　36°　約3.7鏈
Lat. 32° 55′.4 S.　Long. 151° 46′.9 E.
(概位)
注意　(1)海圖上上記位置ニ記載シアル檣船浮標ヲ附記ノ"Horseshoe"ト共ニ削除ス
(2)書誌24號c. 48頁23行◎以下25行「要ス」迄ヲ削除ス
海圖　2739
誌類　(注意2)誌24c. 48頁
出所　Sydney 告示1937年123項

◎12年1032項(2區)
Australia 東岸　New South Wales—Wollongong Harbour　燈臺設置
位置　防波堤頭部ノ燈臺(群閃白光、紅光分弧アリ)ヨリ　131°　2鏈
Lat. 34° 25′.5 S.　Long. 150° 56′.2 E.
(概位)
略記　Fl. W. R. ev. 5 sec. 131 ft. 17 M. (U) (P. A.)
細目　燈質閃白光(紅光分弧アリ),每5秒ニ1閃(閃0.5秒,暗4.5秒)●燈高高潮面上131呎(39.9米)●光達17浬●燭光數白光13,000,紅光5,000,●明弧188°至8°間(188°至213°間ハ紅光,213°至312°間ハ白光,312°至358°間ハ紅光,358°至8°間ハ白光ニシテ其ノ他ハ遮蔽セラル)●構造白塗圓形コンクリート造塔、礎上高83呎(25.3米)●無看守
注意　海圖上(海圖503號ヲ除ク)上記燈臺ノ明弧ヲ記載ス
海圖　2743(分圖共)——2742——803
誌類　†誌24B. 467頁
出所　Sydney 告示1937年119項

◎12年1033項(2區)
Australia 南岸　King George Sound 附近—Eclipse Island 北北東方　淺瀨存在
記事　Eclipse Island ノ北北東方約2浬ニ水深5尋(9.1米)未滿ノ淺瀨アリト謂フ
位置　Eclipse Island 燈臺(群閃白光)ヨリ　18°　1.9浬
Lat. 35° 09′.2 S.　Long. 117° 54′.2 E.
(概位)
水深　5尋(9.1米)未滿
注意　(1)海圖上上記位置ニ○符ヲ記載シ"(P. A.)"及「(1937年)」ヲ附記ス
(2)海圖2834號上ニ於テハ King George Sound 南角ナル Bald Head (401) 南東端ヨリ232°6.5浬(Lat. 35° 10′.7 S. Long. 117°55′.2 E. 概位)ニ○符ヲ記載、「破浪ス(1937年)」ヲ附記シ且 Eclipse Island 燈臺ノ西方約3.7鏈ニ記載シアル○符ヲ附記ノ"Lt. buildg. (1923) (P.A.)"ト共ニ削除シ置クヲ要ス
(3)海圖2833號上ニ於テハ Eclipse Island 燈臺ノ西方約4鏈ニ記載シアル○符ヲ削除シ置クヲ要ス
海圖　2834——2833
誌類　†誌24A. 38頁
出所　Sydney 告示1937年121項

◎12年1034項(2區)
Australia 北岸—Clarence Strait　淺瀨存在
位置及水深　East Vernon Island 燈標(閃白光,紅,綠光分弧アリ)ヨリノ

	方位(度)	距離(浬)	水深(尋)(米)
(イ)	32	5.5	1½ (2.3)
(ロ)	92	2.6	2½ (5.0)
(ハ)	175	3.0	1½ (2.3)
(ニ)	180	2.9	2½ (4.1)
(ホ)	188	2.9	3 (5.5)
(ヘ)	245	12.2	5¼ (9.6)
(ト)	254	9.4	5¼ (9.6)
(チ)	256	8.1	4¼ (7.8)

East Vernon Island 燈標
Lat. 12° 04′.9 S.　Long. 131° 05′.7 E.
(概位)
海圖　2647——(ホ)(ヘ) 2651
誌類　†誌24B. 131頁、133頁、134頁
出所　英告示1937年1352項

◎12年1035項(2區)
U. S. A.　Washington　Puget Sound　Balch Passage—Eagle I. 燈臺　紅光分弧設置
記事　Eagle Island 燈臺(閃白光)ニ76°至113°ノ紅光分弧ヲ設置セリ
位置　Lat. 47° 11′.3 N.　Long. 122° 41′.6 W.
(概位)
略記　Fl. W. R. ev. 4 sec. (U)
細目　燈質閃白光(紅光分弧アリ),每4秒ニ1閃●明弧白光113°—76°,紅光76°—113°●燭光數白光100,紅光30●其ノ他從前通
注意　海圖上上記燈臺ノ紅光分弧ヲ記載スルヲ要ス
海圖　3642
誌類　誌33. 105頁——10年921項(1)
出所　米 Dep. of Com. 告示1937年1463項

◎12年1036項(2區)
U. S. A.　Oregon Columbia River—Baker Bay　航路標識位置變更
(1)Ilwaco Channel No. 1 浮標
位置　Entrance 導燈前燈(Lat. 46° 15′.9 N. Long. 123° 59′.9 W. 概位)ヨリ　42°　1,500米
Lat. 46° 16′.5 N. Long. 123° 59′.2 W.
(概位)
樣式　黑塗圓錐形
(2)Ilwaco Channel No. 3A 燈標
位置　Entrance 導燈前燈ヨリ　346°　1,683米
Lat. 46° 16′.8 N.　Long. 124° 00′.2 W.
(概位)
略記　Fl. G. ev. 4 sec. (No.3A)
構造　竝附杆●其ノ他從前通
注意　海圖上 Entrance 導燈前燈ノ西方約3,000米ニ於テ同燈見通線南側ニ沿ヒ導燈ノ名稱"ENTRANCE RANGE"ヲ附記ス
海圖　3648
誌類　(2)誌33. 140頁——12年949項(2)(ロ)
出所　米 Dep. of Com. 告示1937年1462項

◎12年1037項(2區)
U. S. A.　Oregon Coos Bay 入口—Baltimore Rk. No. 2 打鐘浮標　位置變更
位置　North Spit 南西端附近ノ Old Tr. ○ヨリ　266°　3,978米
Lat. 43° 21′.4 N.　Long. 124° 22′.9 W.
(概位)
海圖　3641(クース河口)
誌類　†誌33. 167頁——S年515項(2)(削除)
出所　米 Dep. of Com. 告示1937年1460項

◎12年1038項(2區)
U. S. A.　Oregon—Port Orford　暗岩存在
位置及水深　Rocky Point 西端(Lat. 42° 43′.2 N. Long. 124° 28′.1 W. 概位)ヨリノ

	方位(度)	距離(米)	水深	底質
(1)	270	732	4尋5呎(8.8米)	R
(2)	294	1,120	2尋4呎(4.8米)	R
(3)	308	1,898	3尋1呎(5.7米)	R

第3215号　本文

注意　(1)海圖上上記(1)位置ニ水深"4_5"ノ暗岩ヲ、(3)位置ニ水深"3_1"ノ暗岩ヲ記載ス
(2)海圖上上記(2)位置ニ水深"2_4"ノ暗岩ヲ記載シ、至近ノ水深"3_4"ヲ削除ス
海圖　3641(オーフォード礁)
誌類　†誌 33. 174 頁――9 年 1139 項(削除)
出所　米 Dep. of Com. 告示 1937 年 1413 項

◉12 年 1039 項(2 區)

India 西岸 Gulf of Cambay—Mitivirdi (Metiveli)燈臺　燈質等變更
記事　Mitivirdi 燈臺ノ燈質(群閃白光)ヲ閃白光ニ、燈高(80 呎)ヲ 125 呎(38.1 米)ニ、光達(20 浬)ヲ 14 浬ニ變更セリ
位置　Lat. 21° 28'.2 N.　Long. 72° 13'.5 E.(概位)
略記　Fl. ev. 3 sec. 125 ft. 14 M.
細目　燈質閃白光、毎 3 秒ニ 1 閃 (閃 0.3 秒、暗 2.7 秒)◉燈高高潮面上 125 呎(38.1 米)◉光達 14 浬◉其ノ他從前通
注意　海圖 3135 號上上記燈臺ノ北西方ニ圖載セル地名"Metiveli"ヲ"Mitivirdi (Metiveli)"ニ改記ス
海圖　3135――3101――3175
誌類　†誌 42. 276 頁――誌 42. 274 頁貼附ノ 9 年 1698 項(削除)
出所　Bombay 告示 1937 年 71 號

◉12 年 1040 項(2 區)

Persian Gulf　Bahrein Island—Manama 無線羅針局設置
位置　Bahrein I. 北東端ノ南西方　約 1.7 浬 Lat. 26° 13' 36" N.　Long. 50° 34' 24" E.
細目　呼出符號 VTF ◉使用周波數(波長)及電波型式 375KC/s(800 米)、A1, A2, B ◉執務時間 0530—0600, 0800—0820, 1200—1230, 1600—1630 ◉有效弧度 0°—360° ◉測定方法 500KC/s(600 米)ニテ聽守シ 425 KC/s(705 米)ニテ送信ス ◉測定料金 1 方位測定ニ付 6 法 25「サンチーム」ヲ"Cable and Wireless, Ltd., Electra House, London, W. C. 2."ニ納入スヘシ
備考　航空機ニ對スル方位測定ハ 333KC/s(900 米)ヲ以テ上記執務時間外ニ行フ

注意　海圖上上記位置ニ⊕符ヲ記載、"RG"ヲ附記ス
海圖　3167
誌類　†誌 44. 287 頁――†誌 90E. 365 ノ 5 頁 2900 番(挿入)
出所　英告示 1937 年 1245 項

◉12 年 1041 項(2 區)

Gulf of Aden Zeila Roadstead—Aibat Island 東方　浮標撤去
位置　Aibat Island 北東端 Bn. ○ノ東方　約 3.9 浬 Lat. 11° 31'.4 N.　Long. 43° 31'.8 E.(概位)
様式　紅塗圓壔形
注意　書誌 45 號 B. 291 頁 24 行至 25 行ヲ削除ス
海圖　3191――3236――3196
誌類　(注意)(昭和 12 年 8 月刊行)誌 45B.291 頁
出所　英告示 1937 年 1315 項

◉12 年 1042 項(2 區)

圖誌訂正
(1)海圖 3707 號――3701 號
Panama Gulf of Panama 東側 Garachiné Point (Lat. 8° 05' 45" N. Long. 78° 23' 25" W. 概位)ノ北西方約 5 浬ニ圖載シアル水深"$3_{\frac{1}{2}}$"、及附記ノ"Repd. (1928)"ヲ削除ス(英告示 1937 年 1354 項)
(2)海圖 3792 號
Chile Golfo Almirante Montt, Focus Island ノ北西方 (Lat. 51° 52' S.　Long. 72° 43' W. 概位)ニ圖載セル水深"$4_{\frac{3}{4}}$"ノ淺瀬ヲ⊕符ニ改記ス(英告示 1937 年 1339 項)
(3)書誌 24 號 A
291 頁下ヨリ 1 行至 2 行ヲ別紙(1 枚)貼附ニ依リ訂正ス(Sydney 告示 1937 年 118 項)
(4)書誌 33 號
(イ)168 頁初行至 2 行ヲ別紙(1 枚)貼附ニ依リ訂正ス(米 Dep. of Com. 告示 1937 年 1414 項)
(ロ)183 頁 19 行ヲ別紙(1 枚)貼附ニ依リ改記ス(米 Dep. of Com. 告示 1937 年 1412 項)

◉12 年 1043 項

(1)海圖改版

番號	圖名	圖積
1155	本洲北西岸諸分圖　第 2　新潟港　直江津港　九十九灣　輪島港　宇出津港　諸寄港　賀露港　網代港　泊港　赤碕港	全
1603	ブーリアス島至サン、ベルナルヂノ海峽	全

(2)書誌新版

番號	書名	定價
書誌第 15 號 A 追	菲律賓諸島水路誌 第 1 巻 追補 第 1	15 錢

(3)海圖廢版

番號	圖名
1155	本洲北西岸諸分圖　第 2
1603	ブーリアス島至サン、ベルナルヂノ海峽

◉項外

(1)航行上注意スヘキ浮流物
(イ)北海道東岸　色丹島―イタコタン埼ノ南東方約 22.5 浬　漁船
9 月 11 日 1315 Lat. 43° 30' N. Long. 147° 12' E.(概位)附近ニ約 3 噸ノ木造漁船顚覆漂流ス(海圖 42 號參照)(汽船センダン丸)
(ロ)北海道南岸―惠山岬燈臺ノ北北東方約 20.5 浬　汽船
9 月 12 日汽船第 1 能州丸(150 噸)ハ Lat. 42° 08' N. Long. 141° 19' E.(概位)附近ニ於テ遭難漂流ス(海圖 43 號參照)(汽船コウザン丸)
(ハ)本洲東岸―尻矢埼燈臺ノ南南東方約 32.5 浬　發動機船
9 月 14 日 1500 Lat. 40° 55' N. Long. 141° 43' E.(概位)附近ニ水面上約 1 米露出セル約 25 噸ノ發動機船漂流ス(海圖 43 號參照)(汽船大榮丸)
(ニ)本洲東岸―金華山燈臺ノ南方約 13 浬　見張櫓
9 月 15 日 1200 Lat. 38° 03'.5 N. Long. 141° 38'.5 E.(概位)附近ニ漁業用見張櫓水面上約 5 米露出漂流ス(海圖 62 號參照)(汽船那須山丸)
(ホ)本洲南岸―三木埼ノ南南東方約 15 浬　材木
9 月 12 日 0845 Lat. 33° 45'.0 N. Long. 136° 24'.5 E.(概位)附近ニ南北約 5 浬ニ亙リテ材木漂流シ北東ノ方向ニ移動ス(海圖 93 號參照)(汽船タイメイ丸)
(ヘ)本洲南岸―梶取埼燈臺ノ東方約 5.4 浬　材木
9 月 14 日 1620 Lat. 33° 35' N. Long. 136° 04' E.(概位)附近ニ長サ約 4 米ノ丸太多數西方ヘ漂流ス(海圖 93 號參照)(汽船空知丸)
(ト)內海　和泉灘―和田岬燈臺ノ南方約 10.6 浬　漁船
9 月 12 日 1400 Lat. 34° 28'.5 N. Long. 135° 13'.0 E.(概位)附近ニ漁船顚覆漂流ス(海圖 106 號參照)(汽船センザン丸)
(チ)內海　安藝灘―三ツ石燈標ノ北北東方約 1 浬　艀
9 月 10 日 1235 Lat. 34° 02'.5 N. Long. 132° 33'.8 E.(概位)附近ニ浸水セル艀漂流ス(海圖 141 號參照)(汽船バイカル丸)
(リ)內海　周防灘―德山灣口至西方三田尻沖　材木
9 月 12 日 Lat. 33° 58' N. Long. 131° 45' E.(概位)ヨリ西方約 8 浬ニ亙リテ材木漂流ス(海圖 1101 號參照)(水路部)
(ヌ)內海　周防灘―姫島北方　材木
9 月 14 日姫島(Lat. 33° 44' N. Long. 131° 40' E. 概位)ノ北東方ヨリ西方ニ亙リテ一帶ニ材木漂流ス(海圖 1101 號參照)(汽船ニッツウ丸)
(ル)朝鮮南岸―巨文島燈臺ノ南南東方約 4 浬　發動機船
9 月 10 日 1911 Lat. 33° 56'.6 N. Long. 127° 21'.8 E.(概位)附近ニ發動機船遭難漂流ス(海圖 304 號參照)(汽船日華丸)

(2)航路標識　燈火管制施行
燈火管制實施ノ爲航路標識ハ當分ノ間消燈又ハ其ノ他燈火管制セラルルコトアリ(燈臺局)
(3)航空燈臺　點燈休止
各航空燈臺ハ昭和 12 年 9 月 10 日ヨリ當分ノ間點燈ヲ休止ス(昭和 12 年 9 月 10 日官報遞信省告示 2758 號)
(4)北海道南岸　釧路港―船澗防波堤燈竿　點燈開始
釧路港船澗防波堤先端(Lat. 42°58'.4 N. Long. 144° 22'.5 E. 概位)ニ設置セル燈竿ハ昭和 12 年 9 月 15 日點燈ヲ開始セリ(12 年 856 項參照)(燈臺局)
(5)本洲南岸―濱松市南西方海岸　實彈射擊施行
9 月 25 日至 30 日(豫備 31 日)間毎日 0800 ヨリ 1600 迄(25 日及 28 日ハ 1800 ヨリ 2300 迄夜間共)濱松市南西方新津海岸(Lat. 34° 40'.5 N. Long. 137° 41'.6 E. 概位)ニ於テ海方ヘ向ケテ實彈射擊アリ、危險區域ハ射擊地點ヲ基點トシテ南方約 16,000 米、東西各約 8,000 米以內ノ海面ナリ、當日ノ天候其ノ他ニ依リ實施ヲ變更スルコトアリ(海圖 70 號參照)
(6)マリアナ諸島―テニアン島西方　海底噴火
「テニアン」島西方「エスメラルダ」洲(Lat. 14° 57' N. Long. 145° 16' E. 概位)ニ於テ最近海底噴火後常態ニ復シタル形跡ヲ認メタリト謂フ(海圖 2114 號參照)(南洋廳在勤武官)

◉學生退校　下志津陸軍飛行學校昭和十一年度特種(通信)學生陸軍航空兵少尉大石榮四郎ハ本月十日退校セリ(陸軍省)

◉練習下士官退校　陸軍重砲兵學校砲塔修練習下士官左記十人修學終了ニ付本月十日退校セリ×印ハ成績優等ニ付教育總監ヨリ銀時計ヲ授與セラレ△印ハ修業後引續キ十箇月間在校セシム(陸軍省)

陸軍砲兵曹長	長澤九一郎	陸軍砲兵軍曹	×野寺　重松
同	×山崎　信勝	同	井手　國春
同	原田淸一郎	同	小形今朝吉
同	嶺　高夫	同	×△佐々木三夫
陸軍砲兵伍長	濱　末吉	同	田邊　直行

○學事

◉名古屋高等工業學校規則中改正　名古屋高等工業學校ニ於テ本月三日ヨリ同校規則中左ノ通改正セリ(文部省)
第六十四條ノ次ニ左ノ通リ追加
第十一章　工業技術員養成科
第六十五條　中學校ヲ卒業シ又ハ之ト同等以上ノ學力アリト認ムル者ニシテ電氣ニ關スル業務ニ從事セントスル者ニ對シ之ニ必要ナル一般的素養ト技能ヲ授クルヲ以テ目的トス
第六十六條　修業期間ハ六箇月トシ之ヲ前期後期ニ分チ前期ハ昭和十二年十月一日ヨリ十二月三十一日迄後期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日迄トス
第六十七條　生徒定員ハ三十名トス
第六十八條　學科課程左ノ如シ

學科目 ＼ 毎週授業時數	製作工科 前期	製作工科 後期	試驗工科 前期	試驗工科 後期	製圖工科 前期	製圖工科 後期	計器工科 前期	計器工科 後期	無線工科 前期	無線工科 後期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
電氣理論及直流機器	一五		一五		一五					
交流機器		一五		一五		一五				
電氣理論及電氣計器							一五			
電氣測定法								一五		
高周波回路及眞空管									一五	
高周波應用										一五
製作實習	二四	二四								
電氣實驗			二四	二四						
機械及電機製圖					二四	二四				
電氣測定實驗							二四	二四		
高周波實驗及無線機器組立									二四	二四
計	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二

第六十九條　入學檢定料及授業料ハ徵收セズ
第七十條　成績考査ニ合格シタル者ニハ工業技術員養成科修了證書ヲ授與ス
第七十一條　本規則運用ニ關スル細則ハ學校長別ニ之ヲ定ム

◉特待生選定　名古屋高等工業學校附設高等夜學部ニ於テ本學年間左記ノ者ヲ特待生ニ選定セリ(文部省)

土木科第三學年	高木　正之
機械科第三學年	花村　敏行
建築科第三學年	柿原　理
土木科第二學年	增山友次郎　板野　壁
機械科第二學年	中島　裕　加藤鋼六郎

◉在外研究員歸朝　文部省在外研究員三重高等農林學校教授松田俊正ハ本年六月二十五日、同高松高等商業學校教授大泉行雄ハ同二十九日孰モ歸朝セリ(文部省)

○宗教

◉華嚴宗管長就職　華嚴宗管長雲井春海任期滿了ニ付筒尾除慶後任管長ニ就職ノ件一昨十六日認可セリ(文部省)

○產業

◉生絲製造高　昭和十二年七月生絲製造高左ノ如シ(農林省)

昭和十二年七月ニ於ケル生絲ノ製造高ハ七四五〇、四〇〇斤ニシテ之ヲ器械生絲、座繰絲及玉絲ニ別テバ
器械生絲　六七六、一三四斤(九〇・八%)
座繰絲　三九、六九七斤(五・三%)
玉絲　二九、一二七斤(三・九%)
又之ヲ白繭絲及黄繭絲ニ別テバ
白繭絲　五三八、九一四斤(七一・〇%)
内器械生絲　四六九、七〇六斤
黄繭絲　二一六、三五六斤(二九・〇%)
内器械生絲　二〇六、四二八斤
ナリ
尚ホ六月以降ノ累計ハ一二、一六三、一〇八斤ニシテ之カ內譯ハ
器械生絲、座繰絲及玉絲別
器械生絲　一、〇九七、三〇八斤(九一・二%)
座繰絲　五六、四二七斤(四・七%)
玉絲　五〇、一七三斤(四・一%)
白繭絲及黄繭絲別
白繭絲　九一二、九三七斤(七五・〇%)
内器械生絲　八一九、五九四斤
黄繭絲　三〇四、一七一斤(二五・〇%)
内器械生絲　二九〇、三五九斤
ナリ

昭和十二年七月生絲製造高

	總數 總數	總數 白繭絲	總數 黄繭絲	器械生絲 總數	器械生絲 白繭絲	器械生絲 黄繭絲	座繰絲 白繭絲	座繰絲 黄繭絲	玉絲 白繭絲	玉絲 黄繭絲
總數	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
國ノ直接調査	[illegible]	[illegible]	100	[illegible]	[illegible]	100	—	—	—	—
北海道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第3215号　本文

第 3215 号　本文

昭和十一年十二月十七日及昭和十二年六月二十六日内務大臣ノ事業認定公告ニ係ル遞信大臣起業飛行場建設ノ爲メ收用スヘキ土地竝收用スヘキ土石砂礫ノ存スル土地ノ細目左ノ如シ

昭和十二年九月十八日　大阪府知事　池田清

大阪府豐能郡池田町大字北今在家字立花三七八ノ二田

昭和十二年七月十日內務大臣ノ事業認定公告ニ係ル大阪府起業光明池用水改良事業ノ爲メ收用スヘキ土地ノ細目左ノ如シ

昭和十二年九月十八日　大阪府知事　池田清

大阪府泉北郡北池田村大字池田下一四七七田、二二四七ノ二堤塘、和泉町大字阪本三七六ノ一溜池、三七六ノ二堤塘、三七七田、信太村大字尾井二六二一、一〇六七、一〇六八溜池、一〇九五山林、二二六三、二二六四合、二二六五、二二六六、二二六七合、二六八、二七二一、二七二二、六〇七、二七三田、同大字太七九三溜池、同大字上代五〇四原野、五五四、五五五、五五六、五五八、五五九、五六一ノ三、五六三ノ一、五六四、一〇五〇、五六一ノ一、五六二田、同大字上七八五畑、七九四田、七八二、七八三、七八四合山林、同大字中五二六ノ一原野、五〇〇、五〇三、五一六、五一七、五二三、五二六ノ二、五二七、五二八、五二九合、五五六、五五七、五五八田、同大字王子五〇四、五四一、五六六、五六八溜池、五四四、五四五、五四六、五四七、五四八、五四九、五五二、五五三、五五四、五五五、五五六、五五九、五五六〇、五五六一合、五六二、五六三、五六四、五六五田

廣告

◎高等試驗行政科口述試驗公告

來ル十月一日ヨリ高等試驗行政科本試驗ノ口述試驗ヲ左記ノ通施行ス

一試驗ノ場所　東京市麴町區內幸町　貴族院內高等試驗場

一試驗日割

一　池尾勝巳
三　橋口隆
五　鳩野潔
七　李興培
九　恩田芳彥
一一　脇田惠
一三　金丸三郎
一五　竹村忠一
一七　田村毅陸
一九　藪田武雄
二一　小祝二郎
二三　江良英千代
二五　寺門建
二七　秋本稔
二九　齊藤良平
三一　白石正雄
三三　近藤鋭一
三五　河野喜雄
三七　櫻井福美
三九　大澤輝繁
四一　片桐正二
四三　熊田稻
四五　家治清一
四七　藤井貞夫
四九　井上恭三
五一　馬場靖文
五三　太田利雄
五五　及川逸平
五七　若狹得治
五九　川崎立太
六一　吉岡俊夫
六三　倉八正
六五　山崎武
六七　小林章
六九　下村與八郎
七一　守屋明男
七三　藤原富一
七五　横山治助
七七　木村數男
七九　有吉正一郎
八一　桑原幸信
八三　小澤弘
八五　津上毅一
八七　大田盛三
八九　富永誠美
九一　鄭鎭東
九三　大戸元長
九五　吉田守正

二　萩原榮治
四　羽生謙一郎
六　西岡康之
八　奧村虎雄
一〇　岡田臣
一二　韓熙錫
一四　片岡力夫
一六　竹田哲哉
一八　倉田春水
二〇　松井佐
二二　小西眞一
二四　鄭壹柔
二六　淺井義治
二八　佐藤三郎
三〇　金寧在
三二　須賀井敏行
三四　下廷圭
三六　朴鍾萬
三八　大野忠男
四〇　渡邊佳英
四二　吉岡英一
四四　公文廣嗣
四六　增井正次郎
四八　佐藤忠雄
五〇　磯部辰雄
五二　千葉元江
五四　奧宮正典
五六　渡邊誠
五八　若江幾造
六〇　梶本保邦
六二　宇田俊平
六四　久保忠雄
六六　松崎芳
六八　佐藤崎人
七〇　日高準之介
七二　須藤義雄
七四　平松誠一
七六　井下田孝一
七八　大谷浩
八〇　青柳克巳
八二　橋本正次郎
八四　村田豐三
八六　伊東務
八八　小山進次郎
九〇　伊東三郎
九二　佐藤齊
九四　渡邊觀吾
九六　黑田龍久

九七　山崎城
九九　佐方信博
一〇一　八木利眞
一〇三　元村初次
一〇五　市來政德
一〇七　私市信夫
一〇九　田中鎮雄
一一一　小野實
一一三　石井健
一一五　大平功
一一七　小幡久男
一一九　潮洸
一二一　小田豐次
一二三　松本鶴治
一二五　劉泰勳

九八　增子正宏
一〇〇　横山正臣
一〇二　小林重禎
一〇四　谷村裕
一〇六　宮崎佐一郎
一〇八　伏見民雄
一一〇　佐藤篤輔
一一二　中畑三郎
一一四　畠中順一
一一六　石田松太郎
一一八　中野正一
一二〇　土井五男
一二二　瓜生復男
一二四　宮川克巳
一二六　磯田進

一二七　古田忠家
一二九　飯田良一
一三一　木村三男
一三三　原晋治
一三五　兼子秀夫
一三七　中原嶢
一三九　關盛吉雄
一四一　卜部敏男
一四三　佐藤尙邦
一四五　奧野誠亮
一四七　山內一夫
一四九　齋藤哲人
一五一　菅達吉
一五三　小川潤一
一五五　笹本忠恕
一五七　光石士郎

一二八　齋藤誠
一三〇　磯野太郎
一三二　市川晃
一三四　川井武夫
一三六　廣瀨眞一
一三八　今井榮文
一四〇　鶴田正三
一四二　木村正太郎
一四四　河村勝
一四六　押目初夫
一四八　渡邊辰三郎
一五〇　中山孝
一五二　濵田正
一五四　矢代道夫
一五六　三谷堅志
一五八　中島健一郎

期日	時	科目	番號
十月一日(金)	午前	憲法	自二五番　至三六番
	午後	憲法	自三七番　至四八番
	午前	行政法	自一番　至二四番
	午後	行政法	自九七番　至一二〇番
	午前	農業政策	九〇番　一四八番
	午後	經濟學	自七八番　至八〇番　自一二一番　至一二五番
	午前	經濟史	九一番　一五二番
	午後	工業政策	八九番　一二七番　一五一番
十月二日(土)	午前	憲法	自一三番　至二四番
	午後	憲法	自八一番　至九二番
	午前	行政法	自二五番　至四八番
	午後	行政法	自四九番　至七二番
	午前	經濟學	自一一六番　至一二〇番　自一二六番　至一二八番
	午後	民法	自一〇四番　至一一五番
	午前	刑法	自九三番　至一〇三番
	午後	刑法	自三六番　至四六番
十月四日(月)	午前	憲法	自五七番　至六八番
	午後	憲法	自六九番　至八〇番
	午前	行政法	自二一番　至四四番
	午後	行政法	自四五番　至五八番
	午前	民法	自三八番　至四九番
	午後	民法	五〇番　九三番　一〇三番
	午前	刑法	自一番　至一一番
	午後	刑法	自一二番　至二二番
十月五日(火)	午前	憲法	自一番　至一二番
	午後	憲法	自四九番　至五六番
	午前	行政法	自七三番　至九六番
	午後	商法	一二番　一三八番　一四〇番
	午前	國際公法	自六二番　至七二番
	午後	國際公法	自四一番　至四四番　自四七番　至五〇番
	午前	刑法	自二三番　至三三番
	午後	刑法	自三四番　至三七番　自一二九番　至一三五番
十月六日(水)	午前	政治學	自八七番　至八八番　自一一三番　至一二八番
	午後	論理學	一二五番
	午前	財政學	自八五番　至八六番　自一一五番　至一二一番　一四五番　一四七番　一五二番
	午後	商業政策	自八一番　至八四番　一一四番　一二六番　一五〇番　一五一番
	午前	國際公法	自五一番　至六一番
	午後	國際公法	自七三番　至七七番　自一〇四番　至一〇六番　自一二二番　至一二四番
	午前	刑事訴訟法	一二九番　一三七番　一四九番
	午後	刑事訴訟法	自一〇七番　至一一一番

一受驗人ハ氏名ノ上ニ記セル番號ヲ前表記載ノ番號ニ對照シ受驗日時ヲ了知セラルヘシ

一午前ノ受驗人ハ午前七時三十分マテニ、午後ノ受驗人ハ午前十一時三十分ヨリ午後零時三十分マテノ間ニ高等試驗場ヘ出頭當日ノ受驗科目ヲ記載シタル名刺ヲ受付ニ差出シ受驗順番票ヲ受ケラレタシ

右指定時間外ノ入場ヲ許サス

昭和十二年九月　高等試驗委員長　瀧正雄

◎工場財團

東京市本所區太平町四丁目九番地一株式會社青木染工場ヨリ東京市本所區太平町四丁目九番地ノ一所在ノ工場ニ屬スル工作物竝ニ機械器具ニ對シ工場財團組成ノタメ所有權保存登記ノ申請アリタルニ因リ右財團ニ屬スヘキ動産ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者ハ本公告ノ日ヨリ三十二日以內ニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ

但シ工場財團ニ屬スヘキモノ、目錄ハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覽ニ供ス

昭和十二年九月十八日　東京區裁判所林町出張所

佐波郡伊勢崎町千七百四十番地伊勢崎織物株式會社ヨリ同所字櫻町四十番、五十番、五十一番所在ノ土地、建物、工作物竝ニ機械器具及地上權等ニ對シ工場財團組成ノタメ所有權保存ノ登記申請アリタルニ因リ右財團ニ屬スヘキ動産ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ權利者ハ本公告掲載ノ日ヨリ三十二日以內ニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ

但シ工場財團ニ屬スヘキモノ、目錄ハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覽ニ供ス

昭和十二年九月十八日　前橋區裁判所伊勢崎出張所

◎無線通信士資格檢定合格者

無線通信士資格檢定合格者氏名左ノ如シ

昭和十二年九月　無線通信士資格檢定委員長　藤川靖

第三級　佐藤新太郎

聽守員級　日比野修　涌井堯貮

◎指定運送取扱人變更

指定運送取扱人左ノ通變更セリ

昭和十二年九月　鐵道省

驛名	商號及氏名
東北本線　王子	東京合同運送株式會社
右本月一日變更	
妻線　妻	妻運輸店原田佳一
右本月七日變更	
志布志線　日向北方	日向北方運送合資會社
古江東線　大隅大崎	大隅大崎運送合資會社
以上本月六日變更	
東串良	東串良運送合資會社
右本月七日變更	

◎公債償還

本月三十日償還ヲ爲スヘキ木浦府第一回公債ニ對シ抽籤ノ結果左ノ通當籤セリ

昭和十二年九月　木浦府

五千圓券　第二十一號、第三十八號

千圓券　第七號、第四十三號、第五十九號

償還場所　株式會社朝鮮殖産銀行

本月三十日償還スヘキ本府公債去月三十日抽籤ヲ執行セシニ左記番號當籤セリ

昭和十二年九月　清津府

清津府第二回公債

●千圓券　第二號、第六五號、第六六號、第九五號、第一〇四號、第一三八號、第一六三號、第一六五號、第一七六號、第二四九號、第二五二號、第二六五號、第二七二號、第三一八號、第三四一號、第三四七號、第三七六號、第三八九號、第三九八號

清津府第一部特別經濟第一回公債

千圓券　第一四號、第三〇號、第三五號

清津府第二部特別經濟第二回公債

千圓券　第一號、第三九號、第四八號

◎普通試驗合格者

本廳施行ノ普通試驗ニ合格シタル者ノ氏名(受驗番號順)左ノ如シ

昭和十二年九月　北海道廳普通試驗委員長　留岡幸男

綾部善兵衛　泉吉太郎　村形登　森田虎太郎　高山久　三浦芳雄　中野武二
高橋儀一　小笠原光治　阿部滿壽夫　柳原敏夫　深田哲夫　木造胖　千葉育
西村賢明　小林勇　渡邊武秋　前川福義　西村初太郎　龜井忠衛　吉池正海
深瀨喜助　小笠原孝三郎　伊藤涉　志賀隆　高瀨秀雄　倉嶋功　若竹長太郎　玉井廳雄　森正一　坂田良雄　佐藤好藏
長谷部伊七　森田義雄　中川賢治　鎌田耕造　春日井仁　吉田庄一　新井眞司　猪川榮吾　坂本四郎　小竹晴次　神田信太郎
加藤豊太郎　紺野忠治郎　片山清　下崎要　梁田徹太郎　四十坊敏巳　住本種吉　作木清藏　赤塚弘男　加藤榮助　清水清志
栗田鐵太郎　三浦時雄　岡本正雄　田中一平　佐々木正夫　田村瑳惟吉　吉田義雄　忍忠旭　田之上則政　豐崎進　水原親義
廣地幸男　吉田常雄　菊地文雄　岩淵喜市　松本岩吉　下川原定吉　小川俊男　金澤榮　谷口次作　村上芳一　金澤武彥
高橋正夫　伊藤隆雄　花田鐵郎　藪田辰夫　長尾文夫　伊藤休治　兒玉昌　道上六藏　池田藤吉　牧野一良

◎特定地貸付

北海道國有未開地處分法第三條ノ規定ニ依リ貸付スヘキ特定地左ノ如シ貸付ヲ受ケントスル者ハ願書ヲ所轄支廳ニ差出スヘシ圖面ハ當廳拓殖部殖民課及所轄支廳竝ニ北海道廳東京事務所、北海道廳靑森移住案內所ニ備置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年九月　北海道廳

國	郡	町村	大字	地名	處分目的	概算地積	分割見込數	殖民區劃內外	概況
十勝支廳管內									
十勝	河西	大正	幕別	上更別	畑	町段畝歩 一〇、〇〇〇〇	一	區劃地	上更別驛ヨリ二十五町普通特定地
根室支廳管內									
根室	野付	別海		西春別	畑	二〇、〇〇〇〇	四	區劃地	許可移民增貸付豫定地

◎區役所位置變更

大阪市港區役所ハ其位置ヲ本月二十日同區市岡元町四丁目十三番地ノ二ニ變更セリ

昭和十二年九月　大阪府

◎購買入札

一鈹力板(噴霧器製作用印刷板)　二十万筒分

一契約條項ヲ示ス場所　當所

一入札竝開札日時及場所　本月二十四日午前十一時當所ニ入札書差出スヘシ卽時開札ス但シ郵便、電信入札差支ナシ

一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)

一入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者ニ限ル

昭和十二年九月十八日　高松刑務所

◎商業登記

●去月三十一日官報掲載當廳商業登記公告九二五頁三段開國鑛業株式會社變更登記公告二行「里見謙吾」ハ「里見讓吾」、九二七頁一段開畑炭鑛株式會社設立登記公告二段五行「中村敬太郎」ハ「中村數太郎」東京自動車株式會社變更登記公告四行「東京自動車用品株式會社」ハ「東京自動車用品販賣株式會社」ノ孰モ誤ニ付訂正ス

昭和十二年九月八日　東京區裁判所

●駿遠鹽業株式會社更正(支店)

昭和十二年五月十七日錯誤發見ニ因リ磐田郡見付町三千三百二十六番地ノ支店ヲ左ノ通リ更正ス

磐田郡見付町二千九百三十番地

右昭和十二年五月十八日登記

掛川區裁判所袋井出張所

●合資會社設立

一商號　信濃常盤運送合資會社

一本店　長野縣北安曇郡常盤村三千五百四十六番地ノ二十二

一目的　運送業及此レニ附隨スル一切ノ業務

一設立ノ年月日　昭和十二年五月十五日

一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任

一金五百圓　無限　長野縣北安曇郡常盤村四千六百九十二番地　清水敬一郎

一金二百圓　有限　同縣同郡同村三百四十九番地　北澤佐重

一金二百圓　有限　同縣同郡同村四千三百六十一番地ノ二號地　鳥羽國永

第3215号　本文

合資會社松室ゴム工業所變更
一無限責任社員松室與八郎ハ昭和十二年五月二十一日持分全部ヲ左記ノ者ニ讓渡シ退社シ讓受人ハ入社ス
機械器具家具建具此價格金一千圓及金五千圓
無限 松室一雄 奈良縣高市郡眞菅村大字慈明寺十三番屋敷

合資會社黒田捺染工場變更
一有限責任社員後藤新太郎ハ昭和十二年五月十日持分全部ヲ左記ノ者ニ讓渡シ退社シ讓受人ハ入社ス
金三千圓 有限 木村興吉 大阪市西淀川區大和田町二百八十五番地

合資會社設立
一商號 合資會社帝國製藥社
一本店 大阪市北區北扇町四十七番地
一目的 一賣藥營業竝ニ賣藥請賣營業 賣藥部外品二藥局經營三藥品販賣 毒物劇物營業四右各項ニ附帶スル事業
一設立年月日 昭和十二年一月二日
一代表社員 中村安太郎
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
金二万圓 無限 中村安太郎 大阪市北區北扇町四十七番地
金四万圓 同 塩澤元次 布施市大字下小坂八番地ノ六
商品十一點此價格金四万五千圓 有限 伊藤幸憲 大阪市港區西條通二丁目十七番地
金二万五千圓 同 浦野多門治 豐中市大字新免二百五十三番地
金一万五千圓 同 春原源太郎 大阪市大正區大正通三丁目二十七番地
金五千圓 同 鷲野清一 大阪府中河内郡大戸村大字石切四百三十四番地
一存立時期 設立ノ日ヨリ滿三十箇年

赤尾合名會社解散
一總社員ノ同意ニ依リ昭和十二年五月二十日解散ス

合名會社二村製材所變更
一社員二村マリヱ二村一ハ昭和十二年五月十七日各持分全部ヲ社員岩城安次郎ニ讓渡シ退社シ讓受人ハ出資ヲ金一万五千圓ト變更シ社員二村晴雄中家信男坊内義雄二村隆晴成田友二ハ同日各持分全部ヲ左記ノ者ニ讓渡シ退社シ讓受人ハ入社ス
金一万二千圓 岩城定夫 大阪市大正區泉尾松ノ町三丁目十二番地
代表社員二村マリヱハ同日退任ス

合名會社古川晃商店變更
一社員古川晃ハ昭和十二年五月十日持分全部ヲ左記ノ者ニ讓渡シ退社シ讓受人ハ入社ス
金二千圓 小池保雄 兵庫縣川邊郡川西町小戸字宮西一番地

合名會社設立
一商號 合名會社川口藥舗
一本店 大阪市西區本田三番町十七番地
一目的 賣藥請賣營業藥品營業 毒物劇物營業竝ニ賣藥部外品化粧品食料品理化學器械醫療材料賣買及ヒ之等ニ附帶スル事業
一設立年月日 昭和十年四月二十日
一代表社員 松井恒男
一社員ノ氏名住所及出資
金二千五百圓 松井恒男 大阪市西區本田三番町十七番地
金九百圓 松井みち 同所
金一千六百圓 松井ミツヱ 同所
一存立時期 設立ノ日ヨリ滿二十箇年

商號新設
一商號 大道赤壁藥局
一營業ノ種類 處方箋調劑及一般藥品食料品化粧品醫療機械衞生材料竝雜貨類ノ販賣業但シ食料品及雜貨類中許可ヲ要スルモノヲ除ク
一營業所 大阪市天王寺區大道四丁目八十五番地
一商號使用者ノ氏名住所 西田幸代 同所

商號抹消
一商號 ブンゲ商會代理店
一商號使用者 ハンス、ルフト
一昭和十二年五月二十日商號ヲ廢止ス

商號抹消
一商號 ラ、ファブリル
一商號使用者 ハンス、ルフト
一昭和十二年五月二十日商號ヲ廢止ス

商號抹消
一商號 ブンゲボーン
一商號使用者 ハンス、ルフト
一昭和十二年五月二十日商號ヲ廢止ス

商號抹消
一商號 サンブラ
一商號使用者 ハンス、ルフト
一昭和十二年五月二十日商號ヲ廢止ス
昭和十二年五月二十二日登記 大阪區裁判所

合資會社更成理化研究所變更
一有限責任社員水谷小太郎山崎千代ハ昭和十二年五月十九日各持分全部ヲ無限責任社員山崎耕作ニ讓渡シ退任シ讓受人ハ出資ヲ金一万圓ト變更ス
昭和十二年五月二十一日登記

合資會社更成理化研究所解散
一有限責任社員全員退社シ無限責任社員ノミトナリタルニ依リ昭和十二年五月十九日解散ス
昭和十二年五月二十二日登記
大阪區裁判所茨木出張所

合資會社綿組變更
一昭和十二年五月十日有限責任社員兒玉鐵藏ハ持分全部ヲ左記ノ者ニ讓渡シ退社シ讓受人ハ入社ス
金二千圓 無限 馬野七登 大阪府三島郡吹田町西奥町千四十八番地
一同日無限責任社員兒玉廣太郎ハ責任ヲ有限ト變更ス
昭和十二年五月二十二日登記
大阪區裁判所池田出張所

株式會社野村銀行變更(支店)
一昭和十二年五月十七日京都市下京區四條通猪熊東入唐津屋町五百十六番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
京都市中京區大宮通錦小路下ル錦大宮町百二十四番地ノ二
右昭和十二年五月十七日登記
大阪區裁判所枚方出張所

合名會社設立
一商號 東洋研磨砥石合名會社
一本店 大阪府北河内郡三郷町大字高瀬舊馬場百六十七番地
一目的 研削砥石及研磨用品製造販賣
一設立年月日 昭和十二年五月十七日
一代表社員ノ氏名 藤本鉄二
一社員ノ氏名住所及出資
金三千圓 藤本鉄二 大阪市港區九條中通二丁目六百二十九番地
金二千五百圓 金森才 大阪府北河内郡三郷町大字高瀬舊馬場百六十七番地
金二千五百圓 高爛玉 同町大安高瀬舊世木六番地
一存立時期 設立ノ日ヨリ向フ二十箇年
昭和十二年五月二十日登記
大阪區裁判所濱出張所

株式會社二見商會變更
一監査役柴田政二ハ昭和十二年五月十四日其住所ヲ大阪市南區瓦屋町三番町七十六番地ト變更ス
昭和十二年五月二十二日登記

株式會社日乃出藥房變更及解散
一取締役中野保良ハ昭和十二年五月十日死亡シ左記ノ者同月十九日取締役ニ就任ス
狩野保夫 大阪市東區唐居町百六十六番地
一株主總會ノ決議ニヨリ昭和十二年五月十九日解散ス
一左記ノ者昭和十二年五月十九日清算人ニ就任ス
狩野保夫 大阪市東區唐居町百六十六番地
昭和十二年五月二十四日登記
大阪區裁判所八尾出張所

合資會社森富洋裁縫工場清算結了
昭和十二年五月十九日清算結了
昭和十二年五月二十日登記

株式會社三和銀行支店設置及支店廢止(支店)
一昭和十二年五月十七日支店ヲ左ノ地ニ設置セリ
布施市大字東足代甲百六十五番地ノ一
一同日大阪市天王寺區東平野町三丁目三十一番地ノ支店ヲ廢止ス

株式會社設立
一商號 株式會社大阪製藥公司
一本店 布施市大字下小阪六百六十一番地
一目的 一藥品營業毒劇物營業賣藥營業賣藥請賣營業及染料工業用藥品化粧品醫療補助品ノ製造竝ニ販賣二外國輸出入貿易ニ關スル業務三日本中華民國滿洲國其他各地ニ於ケル諸種ノ企業投資四前記各項ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日 昭和十二年二月二十日
一資本總額 金三万圓也
一一株金額 金二十圓也
一各株拂込金額 金二十圓也
一公告方法 本店ノ店頭ニ掲ケテ之ヲ爲ス
一取締役ノ氏名住所
松永佛骨 布施市大字下小阪六百六十七番地
岡田清治郎 同市大字菱屋西二百八十三番地
中里 廣 同市大字下小阪六百六十一番地
一會社ヲ代表スヘキ取締役 松永佛骨
一監査役ノ氏名住所
綿引 淳一 大阪市住吉區松崎町一丁目五十三番地
野々部安治郎 同市東區下味原町九十一番地ノ一
一存立時期 設立ノ日ヨリ滿三十箇年
昭和十二年五月二十一日登記
大阪區裁判所玉川出張所

株式會社支店設立
昭和十二年五月十七日支店ヲ當管内ニ設立シタルニ付左ノ登記ヲナス
一商號 株式會社神戸銀行
一本店 神戸市神戸區浪花町五十六番地
一支店
神戸市神戸區榮町通三丁目七番地
神戸市葺合區筒井町三丁目七十五番地
神戸市葺合區小野柄通七丁目十五番地
神戸市葺合區磯上通六丁目十七番地ノ二
神戸市神戸區三宮町一丁目鐵道高架線下自三七至四〇號官有地
神戸市湊區下三條町三番地
神戸市湊東區橘通五丁目五番地ノ二

神戸市湊東區多聞通六丁目十六番地ノ四
神戸市兵庫區上澤通四丁目四番地ノ二
神戸市兵庫區戸場町二十七番地ノ一
神戸市兵庫區新在家町九十九番地ノ一
神戸市兵庫區北逆瀬川町四十二番ノ一、四十三番地ノ一
神戸市兵庫區羽坂通三丁目一番地
神戸市林田區北町二丁目一番地
神戸市林田區腕塚町二丁目六番地ノ二
神戸市林田區大橋町五丁目一番地ノ一
神戸市須磨區月見山本町二丁目七番地
神戸市須磨區天神町五丁目十一番地
東京市日本橋區江戸橋一丁目十三番地
大阪市東區今橋二丁目七番地
大阪市南區長堀橋筋一丁目四十八番地ノ一
大阪市浪速區元町四丁目二百八十二番地
大阪府三島郡茨木町茨木一千四百五番地ノ二
大阪府豐中市大字岡町五十九番地
大阪府豐能郡池田町二千七百四十番地
兵庫縣有馬郡三田町字三田町三十九番地
兵庫縣西宮市久保町六十一番地
兵庫縣西宮市石在町十五番地
兵庫縣武庫郡本庄村青木字中西五百三十四番地
兵庫縣武庫郡御影町字十ヶ坪九百七十五番地ノ五
兵庫縣武庫郡御影町字濱弓場二百七十八番地ノ二
兵庫縣武庫郡住吉村字吉田六百三十五番地ノ五
兵庫縣武庫郡魚崎町魚崎字辻ノ内百九十番地ノ四
兵庫縣武庫郡精道村蘆屋字樋口新田千九百十九番地
神戸市灘區大石字十一番七番地
神戸市葺合區筒井町三丁目三十番地
明石市東本町四十八番地
明石市相生町二丁目二百十番地
明石市樽屋町一丁目九十五番地
明石市西新町四丁目百六十五番地
兵庫縣明石郡垂水町西垂水二千二百十三番地
二千二百十三番地ノ一
兵庫縣明石郡大久保村大久保町十六番地
兵庫縣明石郡大久保村西島千九十八番地
兵庫縣明石郡魚住村中尾二百四番地ノ二
兵庫縣美嚢郡三木町福井千百三十五番地
兵庫縣加古郡加古川町寺家町三百二十一番地
兵庫縣加古郡阿閇村野添千六百六十一番地ノ二
兵庫縣加古郡加古川町寺家町三百四十七番地
兵庫縣印南郡米田町神爪一番地ノ一
兵庫縣加古郡高砂町北本町千百四番地
兵庫縣加古郡二見町東二見千六百八十三番地
兵庫縣加古郡阿閇村本莊千五百八十七番地ノ一
兵庫縣加古郡別府町別府二百八十六番地
兵庫縣印南郡曾根町二千七番地ノ一
兵庫縣印南郡大鹽町二百九十二番地ノ二十六
姫路市中呉服町二十番地
姫路市西紺屋町十二番地
姫路市俵町二十五番地
姫路市博勞町一番地
姫路市大黒町二番地
姫路市鍛治町九番地
兵庫縣飾磨郡御國野村御着八百七十二番地ノ一
兵庫縣飾磨郡余部村青山七百五番地ノ七
兵庫縣飾磨郡余部村飾西三百三十二番地
兵庫縣飾磨郡菅野村苫野三百八十九番地ノ三
兵庫縣神崎郡福崎町福田三百十三番地ノ三
兵庫縣神崎郡田原村西田原千百十番地
兵庫縣神崎郡豐富村豐富千七百七十五番地
兵庫縣飾磨郡飾磨町宮十六番地
兵庫縣飾磨郡八木村八家千三百三番地ノ七
兵庫縣飾磨郡妻鹿町千百三十番地
兵庫縣飾磨郡飾磨町東堀七番地ノ四
兵庫縣飾磨郡廣村廣畑七百五十二番地
兵庫縣揖保郡龍野町龍野千百十七番地
兵庫縣揖保郡龍野町龍野レ五十番地
兵庫縣揖保郡揖保村門前百八十三番地
兵庫縣揖保郡斑鳩町鵤千三百五十七番地ノ一
兵庫縣揖保郡網干町新在家六百八番地
兵庫縣宍粟郡山崎町山崎百二十二番地
兵庫縣赤穗郡赤穗町加里屋二千二百六十五番地ノ一
兵庫縣赤穗郡相生町相生三千九百七番地
兵庫縣赤穗郡上郡町上郡九百三十三番地
兵庫縣赤穗郡上郡町大持百九十二番地ノ四
兵庫縣加古郡加古川町篠原町十四番地ノ一
神戸市灘區日尾町一丁目二十五番地
神戸市灘區水道筋五丁目四番地
兵庫縣川邊郡小濱村川面字五反田七番地ノ十六
一目的 一般銀行業
一設立ノ年月日 昭和十一年十二月十二日
一資本總額 金二千二百五十三万一千六百圓
一一株金額 金五十圓
一各株拂込額 二十四万四千六百四十二株ハ金五十圓七千五百株ハ金二十七圓五十錢三万五千株ハ金二十五圓二十万三千四百九十株ハ金十二圓五十錢
一公告方法 本店所在地ニ於ケル區裁判所ノ登記事項ヲ公告スル新聞紙ニ掲載ス
一取締役ノ氏名住所
岡崎忠雄 神戸市須磨區水野町八番地
八馬兼介 西宮市久保町二十八番地
牛尾健治 姫路市北條口百十番地
嘉納治兵衛 兵庫縣武庫郡住吉村字井出口千六百三十三番地
松本亀太郎 兵庫縣加古郡高砂町南本町八百八十八番地
米澤吉次郎 明石市材木町六十一番地
麻生政一郎 神戸市須磨區稚ノ木町二十一番地
一會社ヲ代表スヘキ取締役 岡崎忠雄八馬兼介牛尾健治
一監査役ノ氏名住所
前田一雄 西宮市常磐町十番地ノ三
山口次郎 兵庫縣神崎郡山田村南山田八百六十一番地
一存立ノ時期 會社設立ノ日ヨリ二十箇年
右昭和十二年五月二十二日登記
伊丹區裁判所

播電自動車株式會社變更
監査役野中幸夫ハ昭和十二年五月二十日任期滿了ニ付退任ス
昭和十二年五月二十五日登記 龍野區裁判所

株式會社日本勸業銀行變更(支店)
一昭和十二年五月十三日左ノ者理事ニ就任ス
弘世正二郎 大阪市西區京町堀上通五丁目十四番地
一監査役平山鼎ハ昭和十二年五月十三日退任ス
同年五月十四日左ノ者監査役ニ就任ス
野津高次郎 東京市澁谷區松濤町三十番地
昭和十二年五月十七日登記 洲本區裁判所

淡路葡萄酒釀造株式會社變更
一取締役滿水喜平ハ昭和十二年五月十三日死亡セリ
右昭和十二年五月二十四日登記
洲本區裁判所市村出張所

濱大津合同運送株式會社變更
一監査役任期滿了ニ付昭和十二年五月十二日左ノ者再選重任ス
藤澤せく

日榮商事株式會社本店移轉
一昭和十二年五月二十日株主總會ノ決議ニ因リ本店ヲ左ノ地ニ移轉ス
岐阜市安良田町四丁目四十番地

近江度量衡株式會社變更
一取締役村田松之助ハ昭和十二年五月十五日辭任ス
昭和十二年五月二十四日登記 大津區裁判所

株式會社滋賀銀行變更(支店)
昭和十二年三月一日區域變更ニ因リ滋賀縣彦根市川原町六十五番地ノ支店所在地番ニ甲ヲ附シタルコトヲ同年五月十五日發見シタルニ因リ左ノ如ク變更ス
滋賀縣彦根市川原町甲六十五番地
昭和十二年五月二十二日登記
大津區裁判所中里出張所

株式會社滋賀銀行變更(支店)
一昭和十二年三月一日彦根市川原町六十五番地ノ支店所在地ヲ左ノ通リ變更ス
彦根市川原町甲六十五番地
昭和十二年五月二十二日登記
大津區裁判所今津出張所

株式會社滋賀銀行變更(支店)
一昭和十二年三月一日區域變更ニ因リ滋賀縣彦根市川原町六十五番地ノ支店所在地番ニ甲ヲ付シタルニ因リ左ノ如ク變更ス
彦根市川原町甲六十五番地
右昭和十二年五月二十四日
大津區裁判所大溝出張所

株式會社滋賀銀行變更(支店)
一昭和十二年三月一日地番變更ニ因リ滋賀縣彦根市川原町六十五番地ノ支店ヲ川原町甲六十五番地ト變更ス
昭和十二年五月二十二日登記 水口區裁判所

株式會社滋賀銀行變更(支店)
一昭和十二年三月一日地番變更ニ付彦根市川原町六十五番地ノ支店ヲ左ノ通リ變更ス
彦根市川原町甲六十五番地

彦根倉庫株式會社變更
一昭和十二年三月一日地番變更ニ付本店ヲ左ノ通リ變更ス
彦根市川原町甲六十五番地

彦根商事株式會社變更
一昭和十二年三月一日地番變更ニ付本店ヲ左ノ通リ變更ス
彦根市川原町甲六十五番地
昭和十二年五月二十四日登記 彦根區裁判所

株式會社滋賀銀行變更(支店)
一昭和十二年五月十五日彦根市川原町六十五番地ノ支店ヲ彦根市川原町甲六十五番地ト變更ス
昭和十二年五月二十四日登記
彦根區裁判所多賀出張所

第3215号 本文

第3215号 本文

●金英除蟲菊株式會社變更
一取締役戸田正男ハ昭和十二年五月十四日改名ニ因リ其名ヲ勝彥ト變更ス
右昭和十二年五月二十五日登記
和歌山區裁判所湯淺出張所

●株式會社三和銀行支店設立及廢止(支店)
一昭和十二年五月十七日左ノ地ニ支店ヲ設立ス
支店 布施市大字東足代甲百六十五番地ノ一
一同日大阪市天王寺區東平野町三丁目三十一番地ノ二ノ支店ヲ廢止ス
昭和十二年五月十九日登記 御坊區裁判所

●合資會社設立
一商號 合資會社新平丸自動車部
一本店 板野郡堀江村大谷字中通二十七番地ノ一
一目的 貨物貸切自動車運送事業竝ニ之ニ附隨スル一切ノ事業
一設立年月日 昭和十二年三月一日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
金二千五百圓 無限責任 橋本六郎 板野郡大津村大幸字長畑十四番地
金二千五百圓 有限責任 板東義八郎 同郡北島村北村字神屋敷五番地
金二千五百圓 同 橋本勇二 同郡堀江村牛屋島字大濱四十番地
金二千五百圓 同 橋本吉太郎 同郡大津村大幸字長畑十四番地
一存立ノ時期 設立登記ノ日ヨリ滿十箇年

●合資會社新平丸自動車部變更
一有限責任社員板東義八郎ハ昭和十二年五月二十四日無限責任ト變更
右昭和十二年五月二十四日登記
德島區裁判所撫養出張所

●株式會社丸仲青果市場
監査役全員任期滿了昭和十二年五月十五日長池利男竹治正雄再選左者新ニ監査役ニ選任セラレ同日何レモ就任那賀郡羽ノ浦町大字中庄字神木六十二番地ノ二近藤喜久太
右昭和十二年五月二十五日登記
富岡區裁判所立江出張所

●株式會社高松魚市場變更
左記取締役昭和十二年五月二十四日重任ス
取締役ノ氏名住所
中村新一郎 高松市北濱町六十八番地ノ一
鈴木金之亟 同市中新町百三十番地ノ一
福島德市 同市兵庫町五十一番地
荒井宗吉 同市今新町三十三番地
齊藤喜次郎 同市天神前百八十五番地
平山亀太郎 同市田町百六番地ノ一
山內勝造 同市宮脇二百六十二番地
加藤利吉 同市松島町二百十九番地

●合資會社古市末廣堂變更
無限責任社員古市芳榮ハ昭和十二年五月十一日死亡シタリ
右昭和十二年五月二十五日登記
高松區裁判所

●妻登記
一妻ノ氏名住所 武藤榮三郎ノ妻武藤淺 幡多郡三崎村三崎六十六番屋敷
一營業ノ種類 呉服反物雜貨小賣商
一營業所 幡多郡三崎村三崎千百十六番地
右昭和十二年五月十五日登記
中村區裁判所三崎出張所

●株式會社內國貯金銀行變更(支店)
一取締役宗田義文ハ昭和十二年五月十九日辭任ス
昭和十二年五月二十四日登記
一宮區裁判所布袋出張所

●相生殖產合資會社解散
一總社員ノ同意ニ因リ昭和十二年五月二十日解散ス
昭和十二年五月二十六日登記
一宮區裁判所犬山出張所

●岐阜合同運送株式會社變更支店
取締役馬場繁八ハ昭和十二年五月十七日死亡ス
昭和十二年五月二十五日登記
一宮區裁判所葉栗出張所

●合資會社設立
一商號 合資會社竹內鋼管工場
一本店 知多郡龜崎町大字乙川字西前田二十三番地
一目的 一自轉車パイプノ製造 二前項ニ附帶スル一切ノ業務
一設立ノ年月日 昭和十二年五月十八日
一社員ノ氏名住所出資及責任
金五千圓 無限 竹內辰二 知多郡龜崎町大字乙川字西前田二十三番地
金一千三百圓 有限 岩井金之亟 名古屋市中區丸田町五丁目四十七番地
金八百圓 有限 水谷志津 同市中區藪田町四十八番地
金八百圓 有限 長縄長助 同市東區上飯田町八十三番地ノ一
金一千三百圓 有限 鈴木清 同市東區平安通二丁目三番地
金八百圓 有限 三治新吉 同市中區新榮町三丁目一番地
代表社員ノ氏名 竹內辰二
昭和十二年五月二十五日登記 半田區裁判所

●足助溫泉土地株式會社變更
一監査役ニ昭和十二年五月二十四日廣瀨安太郎廣瀨金十郎成瀨彌一各重任ス
昭和十二年五月二十四日登記
岡崎區裁判所足助出張所

●共益運輸倉庫株式會社變更
一取締役瀧崎吉次郎增田才吉冨田伊三郎鈴木安吉神藤嘉一ハ昭和十二年四月二十八日重任ス
一監査役川口援兵川口定嗣夏目秋一ハ同日重任ス

●合資會社豐橋鍛工所解散及淸算人選任
一總社員ノ同意ニ因リ昭和十二年五月五日解散ス
一淸算人氏名住所 冨田嘉一 豐橋市鍛冶町四十一番地
昭和十二年五月七日登記

●株式會社立社變更
一取締役全員任期滿了
一取締役淸水熊太郎淸水諄一淸水實次吉田英二ハ昭和十二年四月三十日重任シ左ノ者同日取締役ニ就任ス
淸水諄雄 豐橋市花田町字池田二十番地
一監査役佐久間松太郎ハ同日重任ス

●共榮合資會社解散及淸算人選任
一總社員ノ同意ニ因リ昭和十二年四月三十日解散ス
一淸算人氏名住所 白井仙五郎 豐橋市前田南町三十八番地
昭和十二年五月十一日登記

●株式會社愛知銀行支店移轉(支店)
一一宮市本町通二丁目一番地ノ支店ヲ昭和十二年五月十日左ノ地ニ移ス
一宮市本町通一丁目七番地

●豐橋委託運輸株式會社變更
一取締役中村爲太ハ昭和十二年五月八日辭任ス

●万久足袋合資會社變更
一社員小池義朗ハ昭和十二年四月三十日其持分全部ヲ左ノ者ニ讓渡シテ退任シ讓受人ハ入社ス
金七百圓 有限 夏目市太郎 豐橋市花田町字稻葉十一番地

●合名會社帝國耐酸硝子綿製作所變更
一社員柘植兼次郎長田喜信長田隆太郎ハ昭和十二年五月五日退社ス

●合資會社はつ代變更
一代表社員松見かほるハ昭和十二年四月二十九日辭任ス
一社員松見かほるハ同日其責任ヲ有限ト變更ス
一社員松下政逸ハ同日其責任ヲ無限ト變更ス
一社員小池義朗ハ同日其持分全部ヲ左ノ者ニ讓渡シテ退社シ讓受人ハ入社ス
金二百圓 有限 松下まさゑ 豐橋市花田町字東郷七十番地
昭和十二年五月十二日登記

●鳳來寺鐵道株式會社資本減少
一增加資本ノ總額ヲ昭和十二年五月十一日金一百十万圓ト變更ス

●田口鐵道株式會社變更
一取締役立元祐方ハ昭和十二年五月十一日住所ヲ左ノ地ニ移轉ス
豐橋市花田町字石塚八十三番地
昭和十二年五月十四日登記

●株式會社第一銀行變更(支店)
一取締役小平省三ハ住所ヲ昭和十二年五月十七日左ノ地ニ移轉ス
東京市澁谷區代々木富ヶ谷町千三百八十九番地
昭和十二年五月二十日登記

●株式會社設立
一商號 豐橋絹綿株式會社
一本店 豐橋市前田町十一番地
一目的
一絹綿製造竝ニ販賣業
一絹綿ノ加工竝ニ其製品販賣業
一絹綿製造ニ要スル原料類ノ賣買
一他ノ事業ニ投資スルコト
一以上各項ニ附帶スル一切ノ事業
一設立年月日 昭和十二年五月十一日
一資本總額 金十万圓
一一株金額 金五十圓
一各株拂込株金額 金十二圓五十錢
一公告方法 本社門前ニ揭示ス
一取締役氏名住所
今泉小市 豐橋市鍛冶町二十三番戸
福田實 同市札木町八十八番地
大木金部 同市曲尺手町八十六番地ノ二
小柳津貞三 同市花田町字中郷九十二番地ノ一
一
磯村定一 同町字西宿前六十二番地
豐田博一 同町字小松九十五番地
原淸 同市新川町字市南十五番地
河合得之 同市前田町八十三番地

一監査役氏名住所
小野田稻助 豐橋市花田町字後田八十五番地
內藤陸平 同市青竹町字東青竹百六十八番地
河合孝昌 同市花田町字稗田二十五番地
一存立時期 二十箇年
昭和十二年五月二十二日登記

●商號新設
一商號 塚嶋商店
一營業種類 一會員組織豐橋乾繭取引所會員ノ業務 一右ニ附帶スル一切ノ業務
一營業所 豐橋市松葉町九十一番地
一商號使用者氏名住所 塚嶋ひろ 名古屋市東區宮町一丁目十三番地
昭和十二年五月二十四日登記 豐橋區裁判所

●濃飛倉庫株式會社變更
一取締役伏見儀七ハ昭和十二年五月二十日其住所ヲ岐阜市高野町五丁目三千六十五番地ノ一ニ移轉ス
昭和十二年五月二十四日登記 岐阜區裁判所

●岐阜合同運送株式會社變更
一取締役馬場繁八ハ昭和十二年五月十七日死亡ス
昭和十二年五月二十四日登記 岐阜區裁判所

●岐阜合同運送株式會社變更(支店)
一取締役馬場繁八ハ昭和十二年五月十七日死亡ス
昭和十二年五月二十五日登記
岐阜區裁判所北方出張所

●久々野合同運送株式會社解散及淸算人選任
一株主總會ノ決議ニ因リ昭和十二年五月十日解散ス
一淸算人ノ氏名住所 住幸謹 益田郡小坂町小坂町二百四十一番戸
昭和十二年五月二十二日登記 高山區裁判所

●合資會社市橋商店(變更)
昭和十二年五月二十三日總社員ノ同意ヲ得テ左記ノ者頭書ノ出資及責任ヲ以テ入社ス
金五百圓 有限責任 林寅松 福井市毛矢町九十七番地
右昭和十二年五月二十四日登記 福井區裁判所

●合資會社玉木旅館本店移轉
一昭和十二年五月二十日本店ヲ左ノ地ニ移轉ス
一本店 福井縣敦賀市津內百五十三號八番地ノ一

●敦賀無盡株式會社變更
一取締役馬場勇七ハ昭和十二年五月二十三日其ノ住所ヲ福井市江戸町十九番地ノ三ニ移轉ス
右昭和十二年五月二十五日登記
敦賀區裁判所

●東洋農機株式會社變更及本店移轉
一昭和十二年五月十二日目的ヲ左ノ如ク變更ス
目的 各種鍬製造業ヲ營ムヲ以テ目的トス
一同日本店ヲ左ノ地ニ移轉ス
本店 石川郡野々市町ツノ一番地

●日本勸業證券株式會社支店設立(支店)
一昭和十二年五月十五日支店ヲ左ノ地ニ設立ス
支店 熊本市手取本町五十一番地ノ一

●株式會社內國貯金銀行變更(支店)
一取締役宗田義文ハ昭和十二年五月十九日辭任ス
右昭和十二年五月二十四日登記
金澤區裁判所

●東洋農機株式會社移轉
昭和十二年五月十二日本店ヲ金澤市笠町一丁目三番地ノ一ヨリ當管內ニ移轉シタルニ因リ左ノ登記ヲ爲ス
一商號 東洋農機株式會社
一本店 石川郡野々市町ツノ一番地
一目的 各種鍬製造業ヲ營ムヲ以テ目的トス
一設立ノ年月日 昭和九年十二月十九日
一資本ノ金額 金三千圓
一一株金額 金五十圓
一各株拂込額 金五十圓
一公告方法 店頭ニ揭示ス
一取締役ノ氏名住所
森已之助 金澤市笠町一丁目三番地ノ一
森龍之助 同市同町同番地
森義郎 同市同町同番地
一監査役ノ氏名住所 太田康治 金澤市野町一丁目十一番地
一存立ノ時期 滿十五箇年
右昭和十二年五月二十五日登記
金澤區裁判所野々市出張所

●合資會社谷內機料店淸算結了
一昭和十二年五月十八日淸算結了ス
右昭和十二年五月二十一日登記

●大聖寺合同運送株式會社變更
一監査役全員任期滿了ノ處昭和十二年五月十七日左ノ者再選セラレ同日各重任ス
西吉次郎 伊東啓二 野村喜一郎
右昭和十二年五月二十四日登記
小松區裁判所大聖寺出張所

●合資會社田中商店解散
一總社員ノ同意ニ因リ昭和十二年四月二十三日解散ス
右昭和十二年四月二十九日登記

●能登島汽船株式會社變更
一監査役青山征二ハ昭和十二年四月二十五日辭任ス
一取締役全員任期滿了ノ處昭和十二年四月二十六日治宗一中谷內善權藤岡予ハ重任シ同日新ニ左ノ者取締役ニ就任ス
青山征二 鹿島郡中乃島村字向四百二十ノ四十七番地
安田豐 同郡矢田郷村字府中イ三十六番地
右昭和十二年五月八日登記

●加能鹽業株式會社變更(支店)
一監査役全員任期滿了ノ處昭和十二年五月七日芳野廣太郎松本耕藏ハ各重任ス
右昭和十二年五月十九日登記 七尾區裁判所

●加能鹽業株式會社變更(支店)
一昭和十二年五月七日左ノ者監査役ニ重任ス
芳野廣太郎 珠洲郡小木町字小木十一字十五番地
松本耕藏 金澤市片町八十九番地ノ一
右昭和十二年五月十九日登記

●合資會社設立
一商號 合資會社丸文機業場
一本店 鹿兒島郡灘尾村字東馬場ラ部二十六、三十八番地
一目的 織物ノ製造販賣竝ニ之ニ附隨スル一切ノ事業
一設立ノ年月日 昭和十二年五月十七日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
一金四千圓 無限責任 上田文吉 鹿島郡灘尾村字東馬場ラ部三十六番地
一金四千圓 有限責任 灘尾織物株式會社 同郡同村同字ム部二十六番地
代表社員ノ氏名 上田文吉
一存立ノ時期 設立ノ日ヨリ滿二十箇年
右昭和十二年五月二十二日登記
七尾區裁判所御祖出張所

●加能鹽業株式會社變更
一監査役任期滿了昭和十二年五月七日芳野廣太郎松本耕藏ハ各重任ス
右昭和十二年五月十九日登記
輪島區裁判所飯田出張所

●光明育蠶箔製造株式會社變更
一監査役根上五平ハ辭任シ昭和十二年五月十五日左ノ者監査役ニ就任ス
武道國三郎 東京市板橋區練馬南町一ノ三四四二番地
昭和十二年五月二十四日登記
富山區裁判所八尾出張所

●株式會社日本興業銀行變更(支店)
一理事阿部房次郎ハ昭和十二年五月十二日死亡ス

●株式會社武內商店變更
一取締役古谷自助ハ昭和十二年五月六日死亡ス

●野村生命保險株式會社支店移轉(支店)
一昭和十二年五月十三日京都市下京區油小路通御前下ル玉本町一九七番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
京都市下京區烏丸通七條下ル東境町一九一番地ノ二
昭和十二年五月十七日登記

●株式會社タイダ商店變更
一昭和十二年五月八日左記ノ者監査役ニ就任ス
柳縫次郎 鹿島市鹽屋町四十二番地

●株式會社日本勸業銀行變更(支店)
一監査役平山鼎ハ昭和十二年五月十三日退任シ同年五月十四日左記ノ者監査役ニ就任ス
野津高次郎 東京市澁谷區松濤町三十番地
一昭和十二年五月十三日左記ノ者理事ニ就任ス
弘世正二郎 大阪市西區京町堀上通五丁目十四番地

●合名會社大橋龜吉商店解散
一總社員ノ同意ニ因リ昭和十二年五月七日解散ス

●合資會社設立
一商號 合資會社大橋商店
一本店 鹿島市十日市町二十六番地
一目的 運動用具ゴム製品ノ賣買靴ノ製造販賣業以上之ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日 昭和十二年五月八日
一社員ノ氏名住所出資及責任
金一万四千圓 無限 大橋龜吉 鹿島市十日市町二十六番地
金八千圓 有限 福田彥五郎 鹿島市上柳町六十三番地ノ八

●合名會社鹿島地方醸元賣捌所變更
一社員岩城國次郎ハ昭和十二年五月十二日死亡ス

●株式會社中木印刷所移轉
一昭和十二年五月十七日本店ヲ左ノ地ニ移轉セリ
鹿島市新川場町八十三番地ノ一
昭和十二年五月十八日登記

●日本勸業證券株式會社支店設置(支店)
一昭和十二年五月十五日支店ヲ左ノ地ニ設置セリ
熊本市手取本町五十一番地ノ一

●山陽木材防腐株式會社變更
一各株拂込額ヲ金五十圓ト變更ス
昭和十二年五月十九日登記

◉株式會社三和銀行支店設置並廢止(支店)
一昭和十二年五月十七日支店ヲ左ノ地ニ設置セリ
布施市大字東足代甲百六十五番地ノ一
一同日大阪市天王寺區東平野町三丁目三十一番地ノ二ノ支店ヲ廢止ス

◉株式會社日本興業銀行社債(支店)
一特第二十二號特第二十三號社債總額ノ內一部償還ニ依リ昭和十二年五月十五日各其社債總額ヲ左ノ如ク變更ス
特第二十二號社債總額　金十万圓
特第二十三號社債總額　金二十七万七千五百圓

◉合資會社瀨川兄弟印刷所解散
一總社員ノ同意ニ因リ昭和十二年五月二十日解散ス

◉株式會社第一銀行變更(支店)
一取締役小平省三ハ昭和十二年五月十七日其住所ヲ東京市澁谷區代々木富ヶ谷町千三百八十九番地ニ移轉ス
昭和十二年五月二十日登記

◉合資會社設立
一商號　合資會社藤井富文堂
一本店　廣島市南竹屋町二百十九番地ノ二
一目的　文具品ノ製造及販賣
一設立年月日　昭和十二年五月二十日
一社員ノ氏名住所出資及責任
金六百圓　無限　藤井巖　廣島市南竹屋町二百十九番地ノ二
電話八千三百十九番使用權　此價格金四百圓
金二百圓　有限　藤井淸登　廣島市南竹屋町二百十九番地ノ二
金三百圓　有限　藤尾繁實　安藝郡熊野町大字川角三百二十一番地
一存立時期　設立ノ日ヨリ滿二十箇年
昭和十二年五月二十一日登記

◉東山興業株式會社變更
一取締役增田太朗ハ昭和十二年五月二十日辭任ス
昭和十二年五月二十二日登記　廣島區裁判所

◉中國製袋合資會社變更
昭和十二年五月二十五日左記ノ者頭書ノ出資及責任ヲ以テ入社セリ
金千五百圓　有限　西村万次郎　安佐郡三川村大字中筋古市千七百十七番地
右昭和十二年五月二十五日登記
廣島區裁判所祇園出張所

◉壺万鑢製作株式會社(變更)
取締役梶山万次郎ハ昭和十二年四月三十日會社ヲ代表スヘキ取締役ヲ辭任ス

◉壺万鑢製作株式會社(變更)
昭和十二年四月三十日目的ヲ左ノ如ク變更ス
各種鑢並ニ刃物機械器具工業用品ノ製作及賣買前項ニ附帶スル原料品ノ賣買
昭和十二年四月三十日公告ヲ爲ス方法ヲ左ノ如ク變更シタリ
本會社事務所店頭ニ掲載シテ之ヲ爲ス
右昭和十二年五月十三日登記

◉株式會社三和銀行(變更)
昭和十二年五月十七日支店ヲ左ノ地ニ設立ス
布施市大字東足代甲百六十五番地ノ一
同日大阪市天王寺區東平野町三丁目三十一番地ノ二ノ支店ヲ廢止ス
右昭和十二年五月十九日登記
吳區裁判所廣出張所

◉西備綴網株式會社本店移轉
一昭和十二年五月十九日本店ヲ神戶市神戶區仲町四十五番地ヨリ左ノ地ニ移轉ス
福山市北吉津町百九十番地ノ一
昭和十二年五月二十五日登記　福山區裁判所

◉株式會社大島組本店移轉
一昭和十二年五月二十日本店ヲ左ノ地ニ移轉セリ
山口縣玖珂郡麻里布町大字室木官有地
昭和十二年五月二十四日登記　岩國區裁判所

◉昭和鑛産株式會社會社合併
一昭和十二年五月十八日東京市麴町區內幸町一丁目五番地東京總革床工業株式會社ヲ合併シタルニ付左記事項ヲ追加ス
合併ニ因ル增加資本ノ總額　金五十万圓
合併決議ノ年月日　昭和十二年三月四日
資本增加ニ因ル新株一株金額　金二十圓
各新株ニ付拂込ミタル株金額　金二十圓

◉同會社變更
一昭和十二年五月十八日株主總會ノ決議ニ依リ商號ヲ左ノ如ク變更ス
商號　陸奧鑛業株式會社
一昭和十二年五月十八日株主總會ノ決議ニ依リ目的ヲ左ノ如ク變更ス
目的　一鑛物ノ採取精煉及其ノ販賣　一鑛業權ノ賣買及其ノ投資　一不動産ノ賣買　一有價證券ノ賣買　一前項ノ附帶事業
一昭和十二年五月十八日取締役川內千代次柏野善助帶川慶太ハ辭任シ同日株主總會ノ決議ニ依リ左記ノ者新ニ取締役ニ選任セラレ即日就任ス
一取締役ノ氏名住所
二上定一　宮城縣栗原郡藤里村字柴脇三十四番地
山本計市　東京市日本橋區富澤町十八番地
關高次郎　東京市牛込區若松町百四番地
一昭和十二年五月十八日取締役互選ノ結果左ノ者會社ヲ代表スヘキ取締役ニ選任セラレ即日就任ス
會社ヲ代表スヘキ取締役　二上定一　山本計市
一昭和十二年五月十八日監査役岡友和ハ辭任シ同日株主總會ノ決議ニ依リ左記ノ者新ニ監査役ニ選任セラレ即日就任ス
監査役　前田利次　東京市杉並區馬場四丁目五百三十二番地
右各昭和十二年五月二十四日登記　米子區裁判所

◉株式會社愛媛縣農工銀行合併解散(支店)
一昭和十二年五月十三日東京市麴町區內山下町一丁目一番地株式會社日本勸業銀行ヘ合併シタルニヨリ同日解散ス
右昭和十二年五月二十四日登記　大洲區裁判所

◉株式會社設立
商號　トラック合同株式會社
本店　長崎市出來大工町三十三番地
目的　貨物自動車運輸ヲ目的トシ之ニ附隨スル諸種事業ヲ經營ス
設立年月日　昭和十二年五月十日
資本ノ總額　八万圓
一株金額　金五十圓
各株拂込金額　金五十圓
公告方法　本社店頭ニ之ヲ掲示ス
取締役ノ氏名住所
森　春松　長崎市十人町百八十三番地
鍵山沖四郎　西彼杵郡矢上村町名百九十三番地
濱崎　博　長崎市五島町四十二番地
川下儀平　同市惠美須町七番地
馬場政吉　同市勝山町三十七番地
山口村市　同市稱富町四番地ノ六
會社代表取締役　森春松
監査役ノ氏名住所
山田國治　長崎市千馬町一番地ノ一
溝上佐八　同市五島町四十五番地
存立時期　滿二十箇年
右昭和十二年五月二十二日登記　長崎區裁判所

◉合名會社設立
一商號　大村金融合名會社
一本店　長崎縣東彼杵郡大村町二百七十八番地
一目的　金錢貸付業右ニ附帶スル一切ノ業務其他一般商事業務
一設立ノ年月日　昭和十二年五月二十日
一代表社員ノ氏名　末安喜六
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
一金三百六十圓　末安喜六　長崎縣東彼杵郡西大村杭出津鄕七百六十二番地ノ二
一金三百六十圓　鶴短一　同上九百九十九番地
一金三百六十圓　松尾治良　同村乾馬場鄕五百十三番地
一金三百六十圓　澤山庄平　同上百九十番地
第二
一金三百六十圓　朝長英雄　同郡大村町二百七十八番地
昭和十二年五月二十四日登記　大村區裁判所

◉九州乘合自動車株式會社資本增加
一增加資本總額　金三万圓
一資本增加決議年月日　昭和十二年四月二十日
一各新株拂込金額　金二十圓
昭和十二年五月二十四日登記
福岡區裁判所前原出張所

◉株式會社大分縣農工銀行解散
一昭和十二年三月一日東京市麴町區內山下町一丁目一番地株式會社日本勸業銀行ヘ合併シタルニ因リ解散ス
右昭和十二年五月二十日登記　大分區裁判所

◉榮久土地合資會社變更
一昭和十二年五月十五日社員松田龜彥ノ出資ノ種類及價格ヲ左ノ通リ變更ス
金二百圓　松田龜彥
右昭和十二年五月二十日登記
八代區裁判所宮原町出張所

◉葦北鹽元賣捌合名會社變更
一昭和十二年五月十七日社員松野新次郎及本田幾平ハ其出資額ヲ左ノ如ク變更ス
金三千五百圓　松野新次郎
金五千圓　本田幾平
右昭和十二年五月二十四日登記
八代區裁判所佐敷出張所

◉飫肥商事合資會社解散
一社員荒武篤志死亡ニ因リ無限責任社員全員退社ニ付昭和十二年五月九日解散ス
昭和十二年五月二十四日登記　飫肥區裁判所

◉株式會社津野百貨店變更
監査役丸山虎松ハ任期滿了ニ因リ昭和十二年五月十日退任シ監査役津野德四郞今泉信一ハ任期滿了ノ處株主總會ニ於テ再選セラレ同日重任ス
右昭和十二年五月二十四日登記

◉株式會社東北石炭商會變更
監査役任期滿了ノ處昭和十二年五月二十四日總會ニ於テ左記ノ者再選セラレ同日重任ス
種橋初藏　國分得二
右昭和十二年五月二十五日登記　郡山區裁判所

◉合資會社設立
一商號　乾産業合資會社
一本店　石城郡平町字擂槌小路一番地
一目的　公債社債株券及物品ノ賣買金融並ニ仲介土地住宅ノ經營並ニ賣買毛皮獸ノ飼育及分讓右各種ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和十二年五月十七日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
金一千圓也　無限　吉田昌弘　石城郡平町字擂槌小路一番地
金一千圓也　有限　吉田昌八　右同所
金五百圓也　有限　吉田ミキ　右同所
金五百圓也　有限　永山秀明　同郡同町字四町目五九番地
金五百圓也　有限　村山三郎　同郡同町字白銀町五番地
金五百圓也　有限　齊藤勝義　同郡同町字月見町二六番地
一存立時期　設立ノ日ヨリ滿二十箇年
右昭和十二年五月二十四日登記

◉合資會社平電氣鑄鋼所變更
一昭和十二年五月二十日總社員ノ同意ヲ得テ有限責任社員戶田淸ハ出資持分金一千圓ヲ戶田さたニ讓渡退社シ讓受ケタル戶田さたハ左記出資持分及責任ヲ以テ入社ス
金一千圓也　有限責任　戶田さた　石城郡內鄕村大字御臺境字新町別四番地
右昭和十二年五月二十五日登記　平區裁判所

◉合資會社(設立)
一商號山形縣蠶種合資會社一本店南村山郡南沼原村大字沼木六十番地一目的蠶種ノ製造及ヒ販賣並ニ附帶スル一切ノ事業一設立ノ年月日昭和十二年五月一日一代表社員ノ氏名長澤久太郎一存立ノ時期又ハ解散ノ事由設立ノ日ヨリ滿二十箇年一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及ヒ責任南村山郡南沼原村大字沼木六十番地一金三百圓無限長澤久太郎同所七十七番地一金三百圓也無限鈴木光藏東村山郡相模村大字要害二百二十二番地一金四百圓也無限長岡千代吉ハ同郡山邊町大字山邊六百三十六番地一金二百五十圓也有限佐藤應藏同郡大鄕村大字船町百番地一金二百五十圓也有限秋葉茂同郡相模村大字大塚九十三番地一金二百圓也有限東海林章同郡大曾根村大字古飯二百五十番地一金二百圓也同阿部史作同所大字上反田百五十三番地一金二百圓也同高橋喜代松同郡大寺村大字大寺番外四番地一金二百圓也有限武田恒治同所大字杉下百五十一番地一金二百圓也有限多田貞一
右昭和十二年五月二十四日登記　山形區裁判所

◉細浦合同運送株式會社變更
昭和十二年五月十日目的ヲ左ノ如ク變更ス
目的　運送業運送取扱業及倉庫業並ニ之ニ附帶スル一切ノ業務
會社ヲ代表スヘキ取締役並ニ取締役全員任期滿了ニ付菅原直馬場俊造佐藤喜之助瀧田巖ハ重任シ左記ノ者同日取締役ニ就任ス
細川八百治　氣仙郡末崎村字高淸水百三十七番地
同日取締役菅原直ハ會社ヲ代表スヘキ取締役ニ就任ス
昭和十二年五月二十四日登記
遠野區裁判所高田出張所

◉弘前無盡株式會社變更
取締役佐藤淸吉ハ昭和十二年五月二十四日辭任ス
昭和十二年五月二十五日登記　弘前區裁判所

◉株式會社第一銀行變更(支店)
昭和十二年五月十七日取締役小平省三ハ其住所ヲ東京市澁谷區代々木富ヶ谷町千三百八十九番地ニ移轉ス

◉合名會社時安料理店變更
昭和十二年五月二十日社員船橋文ハ其持分ヲ社員渡邊勘之助ニ讓渡シテ退社シ同人ハ出資額ヲ左ノ通リ變更ス　金八千圓也渡邊勘之助

◉株式會社輕川木工場變更解散及淸算人選任
昭和十二年五月十日監査役村林豐次郎ハ辭任シ同日左者監査役ニ就任ス坂井貞三小樽市山ノ上町八十番地同日株主總會ノ決議ニ因リ解散ス同日左者淸算人ニ就任ス村林豐次郎小樽市住ノ江町八丁目三番地
昭和十二年五月二十日登記

◉富國火災海上保險株式會社變更(支店)
昭和十二年五月八日橫濱市中區本町四丁目三十八番地ノ支店ヲ橫濱市中區本町五丁目四十九番地ニ移轉ス

◉株式會社明治商店變更(支店)
昭和十二年五月十日目的ヲ左ノ通リ變更ス　一砂糖菓子飴類牛乳乳製品其他食料品酒精化粧品賣藥部外品パルプ護謨及護謨製品熱帶産物並麥粉ノ受託販賣及煙草小賣販賣二菓子賣店及喫茶店ノ經營並淸涼飲料水ノ製造販賣三生命火災海上運送保險ノ代理業四前各項ニ關聯又ハ附隨スル事業

◉旭工業株式會社變更
昭和十二年五月十二日本店ヲ小樽市南濱町六丁目六番地ニ移轉ス
同日目的ヲ左ノ通リ變更ス　工業藥品油脂塗料ノ製造販賣及醫藥用藥品並毒物劇物ノ販賣賣藥部外品ノ製造及請賣之ニ附帶スル一切ノ事業　同日會社ヲ代表スヘキ取締役タル取締役西島政直取締役阿部幸次荒巻芳ハ辭任シ同日左者取締役ニ就任ス松森兼與小樽市南濱町六丁目六番地金子金作東京市板橋區下板橋二千六百二十七番地增田時四郎小樽市色內町八丁目四十三番地會社ヲ代表スヘキ取締役松森兼與
昭和十二年五月二十一日登記　小樽區裁判所

◉法人登記

◉社團法人井野興農社變更
一理事村山熊吉村山太一郎奧津俊藏岩井四郎森谷善一郎ハ昭和十二年五月十九日各重任ス
昭和十二年五月二十五日登記　佐倉區裁判所

◉財團法人下高井郡平穩村和合會變更
一理事高木元吉兒玉峯三郎小林小治郎ハ昭和十二年五月十三日重任シ同日左記ノ者理事ニ就任ス
佐藤彌太郎　長野縣下高井郡平穩村千百六十三番地
所節喜代四郎　同縣同郡同村千百五十七番地
昭和十二年五月十五日登記　飯山區裁判所中野出張所

◉社團法人下伊那教育會更正
一出資ノ方法ヲ左ノ通リ更正ス
會員毎月一人當リ月俸ノ百分ノ一以內宛寄附
昭和十二年五月二十五日登記　飯田區裁判所

◉保津五苗財團變更
一昭和十二年五月二十二日左記者理事ニ就任ス
桂五市　南桑田郡保津村字譯目五十四番地
右昭和十二年五月二十五日登記
園部區裁判所龜岡出張所

◉財團法人大阪乳幼兒保護協會變更
一理事富田象吉ハ昭和十二年五月二十日其住所ヲ大阪市住吉區松虫通一丁目三十四番地ニ移轉ス
昭和十二年五月二十一日登記

◉財團法人浪速工業會變更
一昭和十二年五月十五日資産總額ヲ金二万一千五百十一圓六十一錢ト變更ス

◉財團法人大阪基督教會傳道團變更
一理事高木貞衞ハ昭和十二年五月十九日辭任シ左記ノ者同日理事ニ就任ス
佐藤吉郎　大阪市西成區玉川本通二丁目二十四番地
昭和十二年五月二十二日登記　大阪區裁判所

◉漁業組合登記

◉無限責任志津川町漁業協同組合(變更)
一理事一名缺員理事吉田源治芳賀淸太郎ハ任期滿了ニヨリ昭和十二年五月十七日退任シ左ノ者同日理事ニ就任ス
菅原藏藏　本吉郡志津川町字平磯百六十三番地
佐々木榮六　同郡同町字廻館前七十七番地
高橋彌太夫　同郡同町三百九十九番地
一理事西城運治郎ハ昭和十二年五月十八日辭任ス
右昭和十二年五月二十四日登記
氣仙沼區裁判所志津川出張所

◉無限責任忍路郡漁業協同組合變更
昭和十二年五月十二日理事瀨內利兵衞木間榮太郎竹內彥次郎忍路郡鹽谷村大字鹽谷村百九番地久野吉三郎ハ何レモ重任ス
昭和十二年五月十八日登記　小樽區裁判所

◉無限責任江良町漁業協同組合變更
理事黑谷孝太郎ハ昭和十二年四月二十九日辭任ス
右昭和十二年五月三日登記
函館區裁判所福山出張所

◉保證責任澄海村漁業協同組合變更
監事榊林之助ハ昭和十二年四月二十九日辭任ス左者昭和十二年五月十四日監事ニ就任ス龜田七三郎大泊郡澄海村大字雄吠泊字雄吠泊四十六番地
右昭和十二年五月二十二日登記
豐原區裁判所大泊出張所

◉中壢郡漁業組合(變更)
理事監事全員任期滿了ノ處昭和十二年四月十日宮內幸之進李金鎰時任勝二羅輝榮張金火各理事ニ重任同日左者理事ニ新任中壢郡觀音庄觀音字觀音五五番地宇都宮鎗次郎中壢郡中壢街石頭町五番地三上敬太郎同郡新屋庄蚵殼港字蚵殼港二二四番地許國良同日李媽進邱阿長監事ニ重任同日中壢郡新屋庄安子二十四番地呂志滿監事ニ新任
右昭和十二年五月十八日登記
臺北地方法院中壢出張所

第3215号　本文

第3215号 本文

◎相續財産管理人選任

管理人ノ住所氏名 靜岡縣周智郡飯田村睦實二百十八番地 村松 多吉
申立人 國
被相續人ノ最後ノ住所身分職業氏名 靜岡縣周智郡森町森四百六十八番地平民農 吉田 雄次
被相續人ノ出生死亡ノ場所竝ニ其ノ年月日 明治三十七年九月二十八日 右最後ノ住所ニ於テ出生昭和十一年十二月十日失踪宣告ニ因リ昭和四年一月五日死亡ト看做サル
右公告ス
昭和十二年九月四日 掛川區裁判所

最後ノ住所山口縣豐浦郡豐田中村大字殿子七百三十四番地農業 被相續人 福本 襄
明治三十五年五月二十日生
昭和十一年四月六日最後ノ住所ニ於テ死亡
山口縣豐浦郡豐田中村大字人道第千七百二十一番地保證責任豐田中信用購買販賣利用組合代表者同縣同郡同村大字同第百三十六番屋敷右理事山田林之輔ノ申立ニ因リ同縣同郡同村大字殿子七百三十四番地市川義一ヲ右相續財産管理人ニ選任シタリ
昭和十二年九月三日 下關區裁判所

本籍竝最後ノ住所宮城縣加美郡宮崎村宮崎字屋敷六番十二番地 被相續人 亡 藤澤 舍人
明治九年十月二十五日生
昭和八年九月十二日死亡
利害關係人仙臺市大町四丁目百七十五番地株式會社七十七銀行ノ申請ニ因リ昭和十二年九月七日當裁判所ハ宮城縣栗原郡若柳町字川北堤下四十五番地菊地功ヲ前記藤澤舍人ノ相續財産管理人ニ選任シタリ
昭和十二年九月七日 古川區裁判所

◎禁治産宣告

秋田縣南秋田郡潟西村野石字八ツ面壹百二十三番地 加藤 翁治
明治七年四月八日生
右ニ對シ同所字八ツ面三十一番地其ノ妻ノ兄加藤萬之助ノ申立ニ因リ當裁判所ハ昭和十二年九月六日禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月六日 秋田區裁判所

◎準禁治産宣告

本籍竝住所和歌山縣有田郡保田村大字千田千九百三番地 古川 一夫
明治三十七年五月十一日生
右ニ對シ實母古川鄕ノ申立ニ因リ昭和十二年八月三十一日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月三日 和歌山區裁判所

◎公示送達

本籍高知縣幡多郡三原村大字皆尾三十一番屋敷
住居不明 被告人 新谷 竹實
明治四十五年二月十八日生
右者藥品營業竝藥品取扱規則違反被告事件ニ付昭和十二年十月二十五日午前九時公判開廷候條當廳第七號法廷ニ出頭可有之候也
召喚ニ應セサルトキハ刑事訴訟法第八十六條ニ依リ勾引狀ヲ發スルコトアルヘシ
昭和十二年九月十五日 大阪區裁判所 判事 中村源次郎

◎失踪ニ關スル屆出ノ催告

本籍及最後ノ住所靜岡縣賀茂郡白濱村千七十三番地ノ二 不在者 長谷川文藏
嘉永四年十一月一日生
右不在者ニ對シ利害關係人長谷川米吉ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十三年四月五日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月二日 下田區裁判所

本籍竝最後ノ住所三重縣北牟婁郡引本町大字引本浦五百七番地 不在者 濱田 國市
明治三十四年十月八日生
右不在者ニ對シ利害關係人濱田角助ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十三年四月十三日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月二日 木本區裁判所

◎失踪宣告

本籍竝最後ノ住所埼玉縣南埼玉郡粕壁町百五番地 不在者 高島 友吉
安政六年四月八日生
右ニ對シ前同所同番地利害關係人高島利喜造ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年八月二十四日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年八月三十一日 越ケ谷區裁判所

◎破産廢止申立

岐阜縣羽島郡下中島村大字市之枝六六一番地
當時甲府市錦町一八番地ノ内四
破産者 大野 桂治
右當廳昭和十一年(フ)第一號同第四號破産事件ニ付キ破産法第三百四十七條ニ基キ破産者ヨリ破産廢止ノ申立アリタリ
一此ノ申立書類ハ利害關係人ノ閲覽ニ供スル爲メ當裁判所破産係書記課ニ之ヲ備ヘ置ク
一破産債權者ハ本公告アリタル日ヨリ二週間内ニ破産廢止ノ申立ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得
右公告ス
昭和十二年九月十四日 甲府區裁判所

◎債權調査期日變更

破産者 白井 專作
右ノ者ニ對スル昭和十一年(フ)第五號破産事件ニ付昭和十二年九月二十二日午前十時ノ債權調査期日ハ職權ニ因リ之ヲ變更ス
昭和十二年九月十四日 新潟區裁判所

◎復權許可

橫濱市中區本牧町向四千七十三番地
當時東京市芝區芝浦二丁目三番地東京港沖仲仕同業組合方
破産者 野田久三郎
右者ノ申立ニ係ル昭和十二年(サ)第五五〇號復權申立事件ニ付審査スルニ破産者ハ昭和五年十月三十一日午後一時破産ノ宣告ヲ受ケ該決定ハ既ニ確定シタルモノナルトコロ其ノ後破産債權者ニ對スル債務全部ノ免責ヲ得タルコトハ同人提出ノ證據ニ依リ明瞭ナルヲ以テ當裁判所ハ決定スルコト左ノ如シ
主文
破産者野田久三郎ノ復權ハ之ヲ許可ス
昭和十二年九月七日 橫濱區裁判所

今立郡河和田村上河内八十八號七十二番地ノ二 破産者 旭 信
右ノ者ニ對シ當裁判所ハ昭和十二年九月七日復權ノ申立ヲ許可シタリ
右公告ス
昭和十二年九月七日 福井區裁判所

◎行旅死亡人

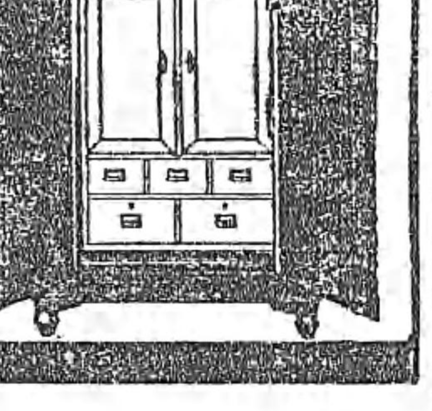
本籍住所氏名不詳推定年齡五十年位ノ男子身長四尺九寸位中肉頭髮前方長ク稍白毛ヲ加フ目口鼻竝特徴ナシ著衣セル鼠色合著上衣白セルズボン麥稈帽子ステッキ携帶品ナシ
右去月三十一日當町字柴崎鐵道踏切附近ニ於テ轢殺サレタル死體檢視ノ上柴崎墓地ニ假埋葬ニ付ス心當リノ者ハ直接當役場ニ申出テラルヘシ
昭和十二年九月
千葉縣東葛飾郡我孫子町役場

正誤

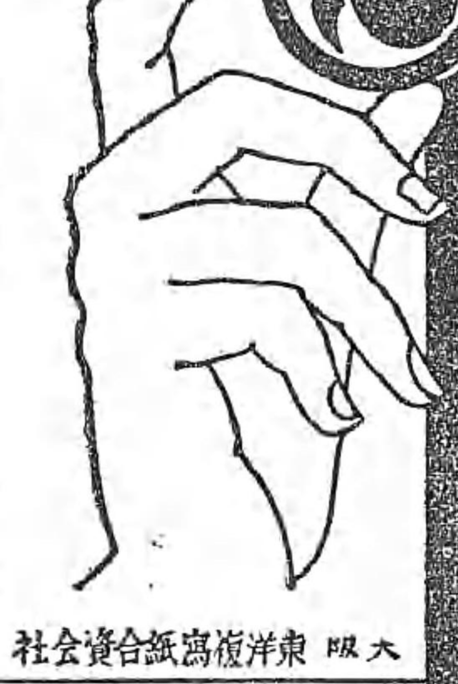
本月十五日本欄公債償還ノ項中青森縣ノ部四一〇頁上段青森縣第二回電氣事業公債壹萬圓券ノ下「一 二七」ハ「一二七」昨十七日同賣却豫定米ノ項中名古屋米穀事務所ノ行八年産ノ部「二〇〇、〇〇〇」ハ「二〇、〇〇〇」去月二十五日廣告二別刷商業登記ノ項中東京區裁判所ノ部二頁三段末行「千三百七十一番地」ハ「二千三百七十一番地」同二十六日同項中同區裁判所ノ部六頁三段終ヨリ四行「上大崎中村」ハ「上大崎中丸」同四段二十七行「昭和十年」ハ「昭和十一年」本月四日同項中同區裁判所ノ部一頁一段三十二行「堀口文太」ハ「堀江文太」ノ孰モ誤植

◎外國郵便物東京中央郵便局締切日時表

通常 普通 月日時	通常 書留 月日時	小包 月日時	郵便船出帆港	船名
◎南支那、香港、フィリピン群島、海峽殖民地、英領印度等行				
九、一九前九	九、一九前八半	—	門司	富山丸
同二〇前九	同二〇前八半	—	同	伏見丸
同二〇後九半	同二〇後九	—	神戸	りおでじやねろ丸
同二一後一〇	同二一後九半	—	同	プレシデント、ウイルソン號
◎加奈陀、米國、南米等行				
同一九後二、一〇	同一九後一、五〇	九、一九前一〇、一五	橫濱	プレシデント、グラント號
同二一後一〇	同二一前一一、五〇	同二一前一〇、一五	同	日枝丸
◎米國、加奈陀、南米等行				
同二〇前一〇、四五	同二〇前一〇、一五	同二〇前一〇、一五	同	玖馬丸
◎蘭領東印度行				
同二一前九	同二一前八半	—	門司	びるま丸

大谷金庫

合資會社 大谷金庫店
東京 京橋區新富町三
京都 松原東洞院東入
大阪 東區平野町二

避雷針專門
大阪市北區空心町二丁目一九
五月(サツキ)電機商會
電話堀川四三九八番

セネラルカーボン紙

鮮明 耐久
大阪 東洋複寫紙合資会社

公債償還當籤公告

金澤市電氣瓦斯事業第四回整理公債元金貳拾五萬八千參百圓竝水道事業第參回整理公債元金壹萬四千七百圓償還ニ對スル抽籤本月十一日執行ノ結果下記證券當籤セリ償還元金ハ昭和十二年九月三十日株式會社加能合同銀行(電氣瓦斯公債ハ支店ヲ含ム)株式會社加州銀行(水道公債ハ支店ヲ含ム)株式會社三和銀行、同東京支店、株式會社三菱銀行、同大阪支店ニ於テ證券引換ニ之ヲ支拂フ
昭和十二年九月十五日
金澤市長 澤野外茂次

電氣瓦斯公債ノ部

壹萬圓券ハ號	270	86	444	90	200	577	828	壹百圓券ロ號
	295	88	449	117	225	593	917	
100	302	157	459	122	265	615	941	3
108	380	181	468	145	275	622	1,008	42
143	392	183	505	153	409	653	五百圓券イ號	75
215		320	531	156	457	672		82
235	五千圓券ハ號	334	壹千圓券ロ號	157	489	706	26	87
247		350		174	521	726	96	104
255	3	395	55	177	529	774	100	123
267	5	405	69	198	554	784		156

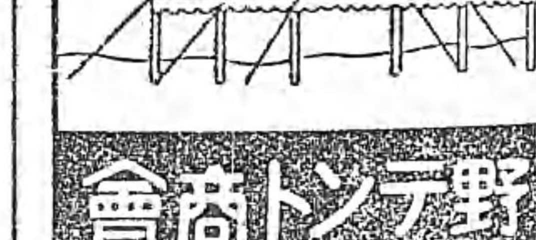
水道公債ノ部

五千圓券ハ號		壹千圓券ロ號				五百圓券イ號	壹百圓券ロ號	
154	188	55	474	521	523	19	85	93

製圖器械は鶴印を!!!

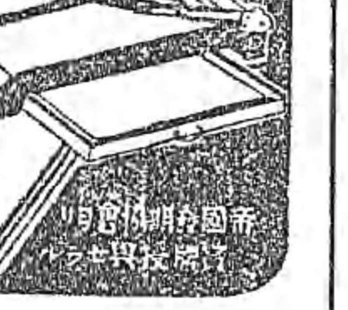
公告

日本輸出鮪罐詰業水産組合創立總會招集通知
一、日時 昭和十二年十月一日午後四時半
一、場所 丸ノ内常盤家
一、會議ノ目的タル事項
(一)定款ノ議定
(二)役員ノ選擧
(三)顧問推薦ノ件
(四)創立費及其償却方法承認ノ件
(五)昭和十二年度組合經費徵收法及收支豫算案承認ノ件
(六)昭和十二年度最高製造高及組合員製造割當高決定ノ件
(七)製品販賣統制ニ關スル件
右公告ス
昭和十二年九月十七日
日本輸出鮪罐詰業水産組合設立發起人總代
太平洋漁業株式會社

矢野


矢野テント商會
大阪 西区日吉橋北
東京 京橋海事局前

Leitz
ライツ製品
顯微鏡(生物學、金屬用、偏光用、其他各種)
顯微鏡寫眞裝置
顯微鏡用附屬品
理化學光學器械
小型カメラ"ライカ"
品名御指定御申越次第型錄贈呈
東洋總代理店 株式會社 シュミット商店
大阪市東區北久太郎町二ノ十三
東京市日本橋區室町三ノ二

實用と經濟を
第一膽寫版

東京市日本橋區橋町
第一膽寫堂

明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

特許 國華金額記入器

同一金額を二様三様に記入する場合能率のあがらぬ、誤謬の多い手書やゴム印をやめ本機に依つて明朗に快適に處理しませう。

納稅告知書 證券各書の金額記入に

御申込次第詳細型錄を御送附致します

日本タイプライター株式會社

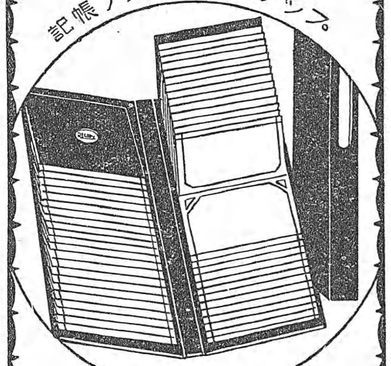
本社 東京市京橋區銀座町二ノ一
支店 大阪・東京・名古屋・札幌・仙臺・金澤・新潟・廣島・福岡

簿帳ドカード覽一

RECORDEX BOOK

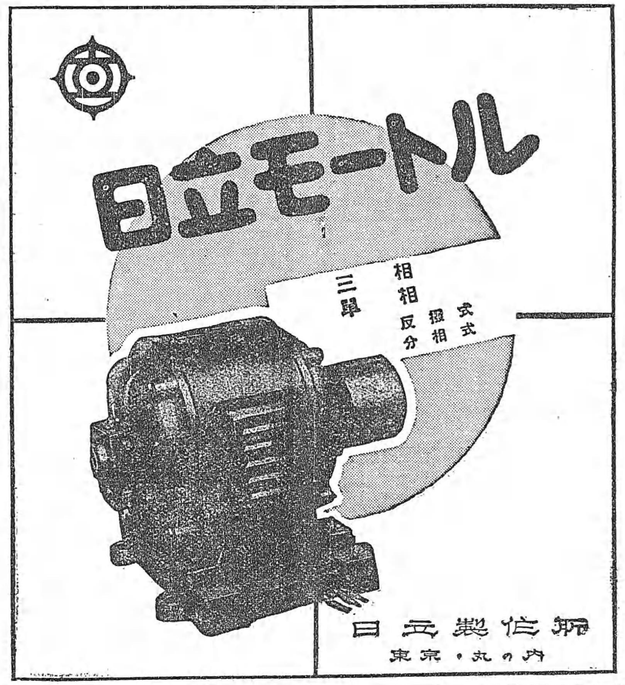
レコーデクス ブック

記帳ノスピードアップ



楠堂

大阪市西江之子島
電話工佐堀204



手島益雄著

安藝備後兩國偉人傳 全一冊 定價三圓 郵稅拾四錢

儒者傳、城主傳、醫人傳、高僧傳、武將傳、俳人傳、書畫家傳、勤王家傳、忠義家傳、武術家傳、婦人傳、以上凡そ五百餘名の詳傳。

本社は鄉土雜誌「藝備之友」を發行する事、三十年、號を重ぬる事三百號、其記念出版として今回本書を發行せるものなり。購讀を請ふ。官衙學校圖書館は公印押捺註文は前金を要せず。

發行所發賣所 東京本鄉區彌生町三振替東京六七一〇八 東京藝備社

日本テント

日本テント商會

大阪南安治川二(源八橋西詰)
電話西六九二番

定價 一ヶ月 九十五錢 一部 五錢 一問八十錢 八錢(外國郵便ニ依ル地域)各證料共

廣告料 本公告 八ポイント一行 三十錢 一般廣告 八ポイント一行十四字詰 九ポイント五錢增 二十五錢

發行所 東京市麹町區大手町 内閣印刷局 電話丸の内(23)五一一番 振替貯金口座東京一九五〇〇番 官報課

（本書ノ大サハ國定規格Ａ４判）

特 3215 号 本文